

# 南海中学校中舎外壁改修工事

図面番号	図面名
01	改修特記仕様書(1)
02	改修特記仕様書(2)
03	改修特記仕様書(3)
04	改修特記仕様書(4)
05	付近見取図、配置図兼仮設計画図
06	1、2階平面図
07	3、4階平面図
08	屋根伏図
09	立面図(1)
10	立面図(2)
11	矩計図、断面詳細図、A-A'断面図
12	1、2階天井伏図
13	3、4階天井伏図
14	1、2階建具配置図
15	3、4階建具配置図
16	【参考図】建具表(1)
17	【参考図】建具表(2)
18	屋外階段詳細図
19	【参考図】補強部詳細図-1(Y1通り-X7・X8軸間)
20	【参考図】補強部詳細図-2(Y3通り-X7・X8軸間)
21	【参考図】ベランダ断面図

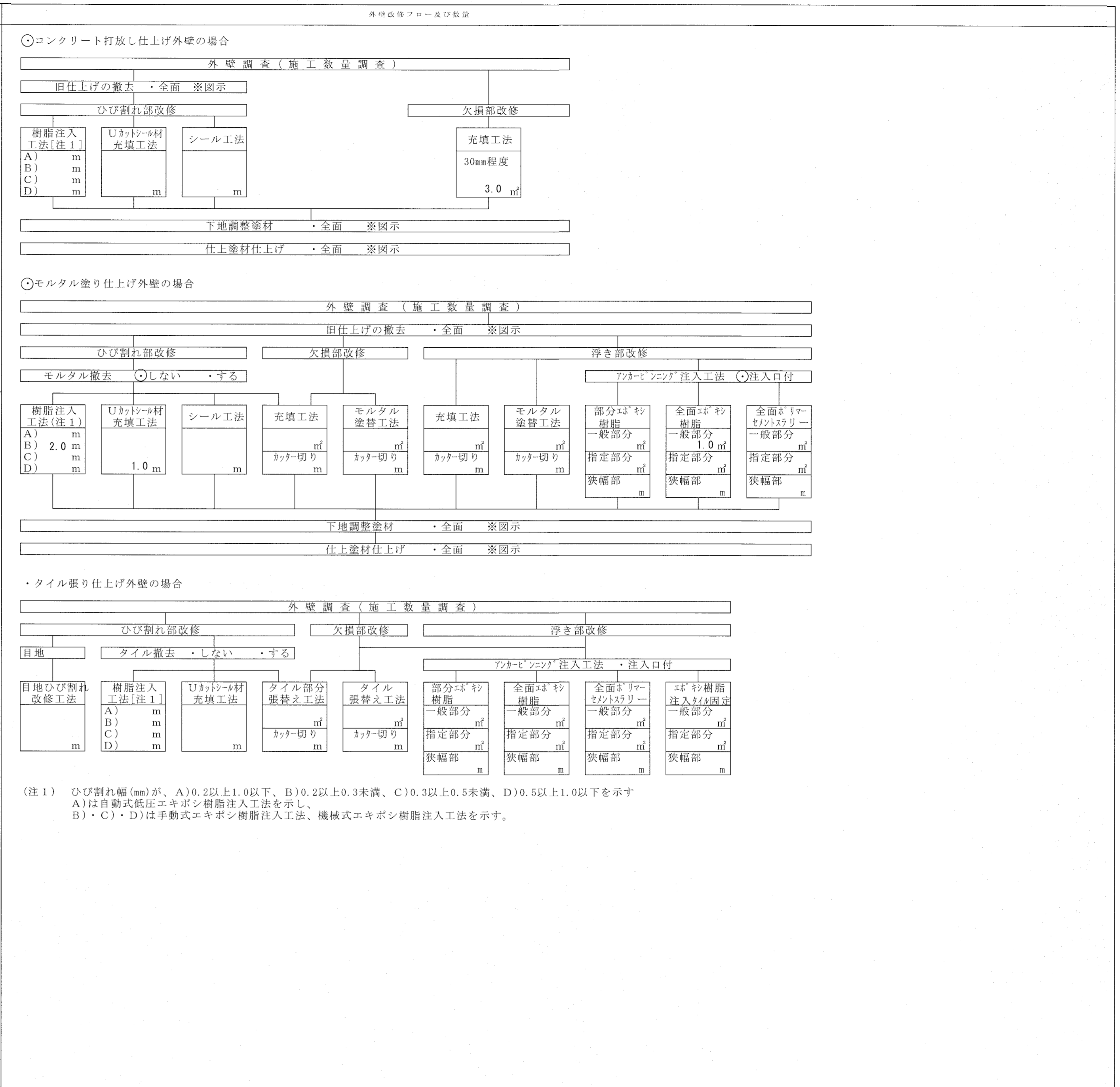


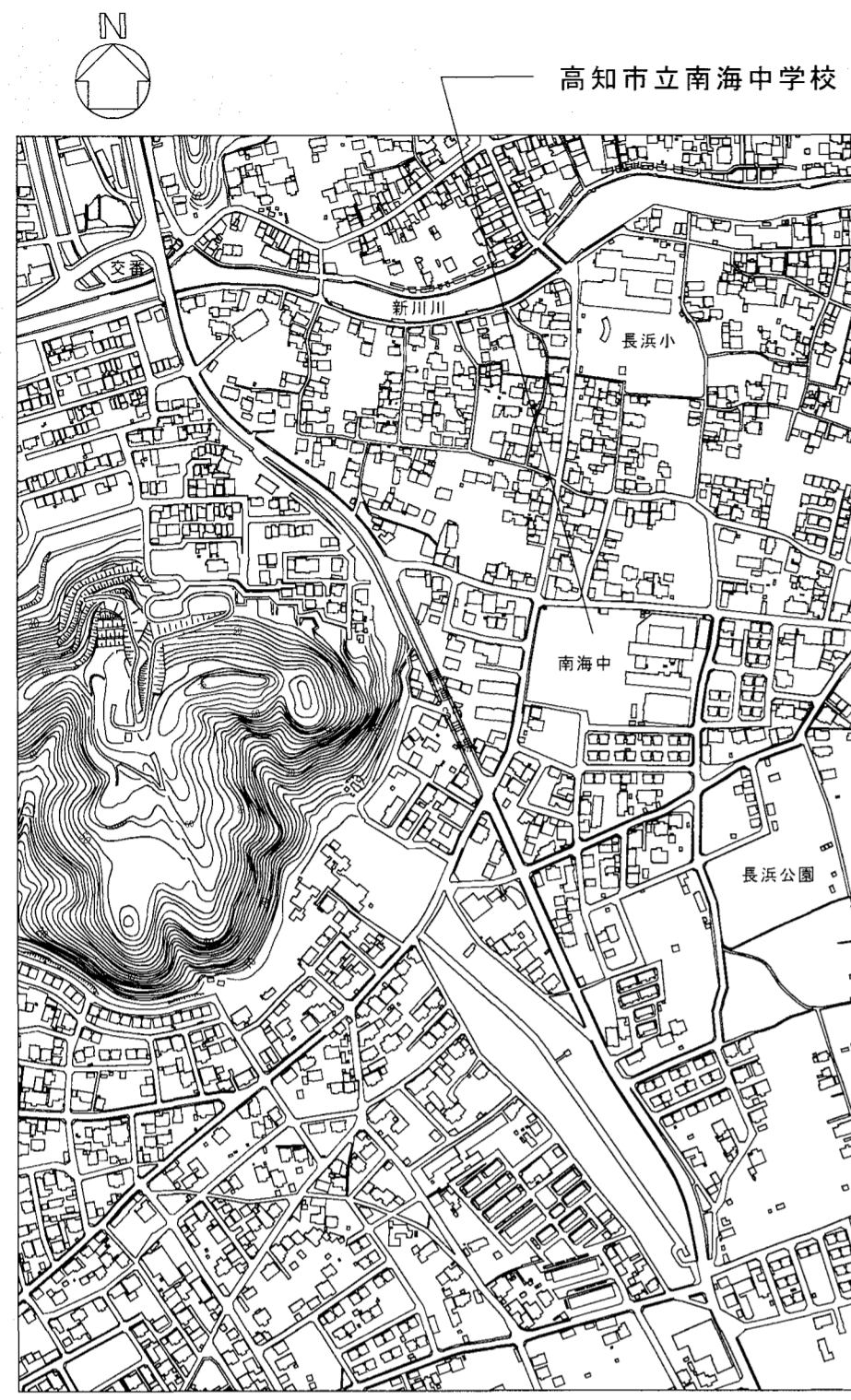
項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																				
27 事業損失補償	※現場説明書による。	5 監督職員の備品等	備品等の設置 [2.4.1] <table border="1"> <tr><td>備品の種類</td><td>机・椅子</td><td>書棚</td><td>黒板</td><td>PC</td><td>掛時計</td></tr> <tr><td>数量</td><td>組</td><td>台</td><td>枚</td><td>台</td><td>個</td></tr> <tr><td>備品の種類</td><td>温度計</td><td>ゴム長靴</td><td>雨がっぱ</td><td>保護帽</td><td>懐中電灯</td></tr> <tr><td>数量</td><td>個</td><td>足</td><td>着</td><td>個</td><td>個</td></tr> <tr><td>備品の種類</td><td>衣類ロッカー</td><td>冷暖房機器</td><td>消火器</td><td>湯沸器</td><td>加入電話付機器</td></tr> <tr><td>数量</td><td>人用</td><td>台</td><td>個</td><td>台</td><td>台</td></tr> <tr><td>備品の種類</td><td>掃除具</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>数量</td><td>個</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	備品の種類	机・椅子	書棚	黒板	PC	掛時計	数量	組	台	枚	台	個	備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯	数量	個	足	着	個	個	備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消火器	湯沸器	加入電話付機器	数量	人用	台	個	台	台	備品の種類	掃除具					数量	個					⑤ シーリング	シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.4~3.7.7][表3.1.2] ・シーリング充填工法 ・ブリッジ工法 ・ボンドブレッカー張り ・エンジング材張り ・シーリング再充填工法 ・拡幅シーリング再充填工法  シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.4][3.7.2][表3.7.1] ※下表による(下表以外は表3.7.1による) <table border="1"> <tr><th>種類(記号)</th><th>主成分による区分</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>・SR-1</td><td>シリコン系</td><td></td></tr> <tr><td>・SR-2</td><td>シリコン系</td><td></td></tr> <tr><td>・MS-2</td><td>変成シリコン系</td><td>図示</td></tr> <tr><td>・PS-2</td><td>ポリサルファイド系</td><td></td></tr> <tr><td>・PU-2</td><td>ポリウレタン系</td><td></td></tr> </table> 仕上げを行わない箇所 ( ) [表3.7.1]  シーリング材の目地寸法 [3.7.3] <table border="1"> <tr><th>箇所</th><th>打継ぎ/ひび割れ誘発目地</th><th>ガラス回りの目地</th><th>左記以外の目地</th></tr> <tr><td>幅(mm)</td><td>※20以上</td><td>※幅及び深さ5以上[5.13]</td><td>※10以上</td></tr> <tr><td>深さ(mm)</td><td>※10以上</td><td>.3]による場合を除く)</td><td>※10以上</td></tr> </table> 接着性試験 [3.7.8] ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験  材料 [3.8.2][表3.8.1] <table border="1"> <tr><th>材</th><th>種</th><th>寸法</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</td><td></td><td></td><td>※たてどい</td></tr> <tr><td>・硬質ポリ塩化ビニル管カラー(ｶﾗｰVP)</td><td></td><td>φ75、φ100</td><td>※たてどい</td></tr> <tr><td>・硬質塩化ビニル雨どい</td><td></td><td></td><td>※軒どい ・ たてどい</td></tr> </table> とい受金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔 [3.8.2] 材質: ※ステンレス製 ・溶融鉛詰めつき その他: ※表3.8.2による 防露材のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆ [3.8.2] 既存のといその他の撤去 ※図示 [3.8.3] 降雨等に対する養生方法 ※監督職員と協議による ・図示 鋼管製といの防露巻き ・表3.8.4による たてどい受金物の取付け ・図示 ルーフドレンの取付け ・水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する。  受注者、施工者、材料製造所連名による 10年保証(完成届提出日より15日後から)  JIS K 5675 (屋根用高日射反射率塗料)に適合するもの、または、グリーン購入法の高日射反射率防水に適合する保護塗料とする。  7 保証書 (シーリング除く) 8 高日射反射率塗料塗り	種類(記号)	主成分による区分	施工箇所	・SR-1	シリコン系		・SR-2	シリコン系		・MS-2	変成シリコン系	図示	・PS-2	ポリサルファイド系		・PU-2	ポリウレタン系		箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地	幅(mm)	※20以上	※幅及び深さ5以上[5.13]	※10以上	深さ(mm)	※10以上	.3]による場合を除く)	※10以上	材	種	寸法	施工箇所	・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)			※たてどい	・硬質ポリ塩化ビニル管カラー(ｶﾗｰVP)		φ75、φ100	※たてどい	・硬質塩化ビニル雨どい			※軒どい ・ たてどい																						
備品の種類	机・椅子	書棚	黒板	PC	掛時計																																																																																																																				
数量	組	台	枚	台	個																																																																																																																				
備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯																																																																																																																				
数量	個	足	着	個	個																																																																																																																				
備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消火器	湯沸器	加入電話付機器																																																																																																																				
数量	人用	台	個	台	台																																																																																																																				
備品の種類	掃除具																																																																																																																								
数量	個																																																																																																																								
種類(記号)	主成分による区分	施工箇所																																																																																																																							
・SR-1	シリコン系																																																																																																																								
・SR-2	シリコン系																																																																																																																								
・MS-2	変成シリコン系	図示																																																																																																																							
・PS-2	ポリサルファイド系																																																																																																																								
・PU-2	ポリウレタン系																																																																																																																								
箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地																																																																																																																						
幅(mm)	※20以上	※幅及び深さ5以上[5.13]	※10以上																																																																																																																						
深さ(mm)	※10以上	.3]による場合を除く)	※10以上																																																																																																																						
材	種	寸法	施工箇所																																																																																																																						
・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)			※たてどい																																																																																																																						
・硬質ポリ塩化ビニル管カラー(ｶﾗｰVP)		φ75、φ100	※たてどい																																																																																																																						
・硬質塩化ビニル雨どい			※軒どい ・ たてどい																																																																																																																						
29 完成写真	下表のものを監督職員に提出する。 <table border="1"> <tr><th>位置</th><th>分類・規格</th><th>撮影枚数</th><th>部数</th><th>原版の大きさ(mm)</th></tr> <tr><td>・各室</td><td>手札版(L版)</td><td>※2枚</td><td>※1部</td><td>・部</td><td>・100×125以上</td></tr> <tr><td>・外部</td><td>キャビネ版</td><td>※4枚</td><td>※1部</td><td>・部</td><td>・24×36以上</td></tr> <tr><td>・外部</td><td>半切ハネル・木製枠※アルミ枠</td><td>※1枚</td><td>※1部</td><td>・部</td><td></td></tr> <tr><td>・</td><td>スライド</td><td></td><td>※1部</td><td>・部</td><td></td></tr> </table> カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。 撮影箇所は監督職員と協議する。 上表のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等にて提出する。 画像形式等 フォーマット: JPEG 画質: 標準 画像サイズ: 1024×768ピクセル程度	位置	分類・規格	撮影枚数	部数	原版の大きさ(mm)	・各室	手札版(L版)	※2枚	※1部	・部	・100×125以上	・外部	キャビネ版	※4枚	※1部	・部	・24×36以上	・外部	半切ハネル・木製枠※アルミ枠	※1枚	※1部	・部		・	スライド		※1部	・部		⑥ 工事用水・電力	構内既存の施設(用水) ( )利用できる (※有償 ・ 無償) ※利用できない 構内既存の施設(電力) ( )利用できる (※有償 ・ 無償) ※利用できない  構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a)~c)による。 a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。 b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。 c) 工事用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態等を確認し、既設負荷への波及がないようにする。 また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。  構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a)~c)に下記d)~e)を加える。 d) 工事用水は、既存設備に量水器を設けて、仮設配管を施し使用するものとする。 e) 工事用電力は、原則、既存設備に電力計を設けて、仮設配電盤を設置し、使用するものとする。  四国電力送配電線などの架空線に防護管の設置が必要な場合は、監督職員と協議する。 ※図示 ※原形の復旧 : 良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ( ) [2.5.1]	⑥ とい	⑥ とい																																																																																							
位置	分類・規格	撮影枚数	部数	原版の大きさ(mm)																																																																																																																					
・各室	手札版(L版)	※2枚	※1部	・部	・100×125以上																																																																																																																				
・外部	キャビネ版	※4枚	※1部	・部	・24×36以上																																																																																																																				
・外部	半切ハネル・木製枠※アルミ枠	※1枚	※1部	・部																																																																																																																					
・	スライド		※1部	・部																																																																																																																					
30 別途設備工事との取合い	施工範囲 ・貫通孔、開口部の補強 ※下表 ・図示 ・壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※下表 ・図示 ・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強	⑦ 仮囲い ⑧ 仮設物撤去後の整地・処分付け	防水改修工事 ① 降雨等に対する養生方法 [3.1.3] 2 既存下地の処理 [3.2.6] 3 合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.5.2][表3.5.1~表3.5.2] <table border="1"> <tr><th rowspan="2">工法</th><th rowspan="2">種別</th><th rowspan="2">施工箇所</th><th rowspan="2">厚さ(mm)</th><th colspan="2">仕上塗料</th><th rowspan="2">備考</th></tr> <tr><th>種類</th><th>使用量</th></tr> <tr><td rowspan="4">・POS ・S4S</td><td>・S-F1</td><td></td><td>※1.2</td><td>※製造所の仕様による</td><td>改修用ドレン</td></tr> <tr><td>・S-F2</td><td></td><td>※2.0 ・1.5</td><td></td><td>・設ける ・設けない</td></tr> <tr><td>・S-M1</td><td></td><td>※1.5</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td></tr> <tr><td>・S-M2</td><td></td><td>※1.5</td><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">・S3S</td><td>・S-F1</td><td></td><td>※1.2</td><td>※製造所の仕様による</td><td>改修用ドレン</td></tr> <tr><td>・S-F2</td><td></td><td>※2.0 ・1.5</td><td></td><td>・設ける ・設けない</td></tr> <tr><td>・S-M1</td><td></td><td>※1.5</td><td>※製造所の仕様による</td><td>改修用ドレン</td></tr> <tr><td>・S-M2</td><td></td><td>※1.5</td><td></td><td>・設ける ・設けない</td></tr> <tr><td rowspan="4">・M4S</td><td>・S-M1</td><td></td><td>※1.5</td><td>※製造所の仕様による</td><td>改修用ドレン</td></tr> <tr><td>・S-M2</td><td></td><td>※1.5</td><td></td><td>・設ける ・設けない</td></tr> <tr><td>・POS1 ・S3S1 ・S4S1</td><td>・SI-F1 ・SI-F2</td><td>※1.2 ※2.0 ・1.5</td><td>※製造所の仕様による</td><td>改修用ドレン ・設ける ・設けない</td></tr> <tr><td>・M4S1</td><td>・SI-M1 ・SI-M2</td><td>※1.5 ※1.5</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td></tr> <tr><td>・P1S</td><td>・S-C1</td><td>※1.0</td><td></td><td>立上り保護 モルタルの塗厚 ・図示 ・7mm</td></tr> </table> 断熱工法に用いる断熱材(SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) [3.5.2] <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>材料</th><th>厚さ</th></tr> <tr><td>機械的固定工法</td><td>JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ポリフォーム断熱材2種1号又は2号</td><td>・図示</td></tr> <tr><td>接着工法</td><td>JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ポリフォーム断熱材2種1号又は2号</td><td>・図示</td></tr> </table> S-M2及びSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ 工法: ※図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械固定工法(厚さ mm) [表3.1.1] 立上り部等の防水層撤去 ・行 ・行わない 立上り部等の保護層撤去 ・行 ・行わない P O S工法及びP O S I工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)(g)による 固定金具の材質及び形状 [3.5.2] 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ(mm) ※0.4以上 S-M1及びPS-M2の絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 [3.5.2] ※発泡ポリエチレンシート 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の仕様による [3.5.3] SI-M1及びPS-M2の防湿用フィルムを設置 ※設けない ・設ける [表3.5.2] プレキャストコンクリート下地の目地処理(接着工法の場合) [3.5.4] ・行 ・行わない ・行 ・行わない S-F1及びSI-F1のプレキャストコンクリート下地の入隅部増張り ・行 ・行わない 一般部のルーフィングシートの張付けで機械的固定工法の場合 建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法  防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1~表3.6.3] <table border="1"> <tr><th rowspan="2">工法</th><th rowspan="2">種別</th><th rowspan="2">施工箇所</th><th colspan="2">仕上塗料</th><th rowspan="2">高日射反射率塗料の適用</th><th rowspan="2">備考</th></tr> <tr><th>種類</th><th>使用量</th></tr> <tr><td rowspan="4">・POX ・L4X</td><td>・X-1</td><td></td><td>※2成分形アルキル樹脂系</td><td>※製造所の仕様による</td><td>改修用ドレン</td></tr> <tr><td>・X-1H</td><td></td><td>・ふっ素樹脂系</td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td>・X-2</td><td></td><td>・アクリル樹脂系</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・X-2H</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様による [3.6.3] ウレタン防水材 ※化学物質MOCAを含有しないもの	工法	種別	施工箇所	厚さ(mm)	仕上塗料		備考	種類	使用量	・POS ・S4S	・S-F1		※1.2	※製造所の仕様による	改修用ドレン	・S-F2		※2.0 ・1.5		・設ける ・設けない	・S-M1		※1.5	※製造所の仕様による		・S-M2		※1.5			・S3S	・S-F1		※1.2	※製造所の仕様による	改修用ドレン	・S-F2		※2.0 ・1.5		・設ける ・設けない	・S-M1		※1.5	※製造所の仕様による	改修用ドレン	・S-M2		※1.5		・設ける ・設けない	・M4S	・S-M1		※1.5	※製造所の仕様による	改修用ドレン	・S-M2		※1.5		・設ける ・設けない	・POS1 ・S3S1 ・S4S1	・SI-F1 ・SI-F2	※1.2 ※2.0 ・1.5	※製造所の仕様による	改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M4S1	・SI-M1 ・SI-M2	※1.5 ※1.5	※製造所の仕様による		・P1S	・S-C1	※1.0		立上り保護 モルタルの塗厚 ・図示 ・7mm	工法	材料	厚さ	機械的固定工法	JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ポリフォーム断熱材2種1号又は2号	・図示	接着工法	JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ポリフォーム断熱材2種1号又は2号	・図示	工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反射率塗料の適用	備考	種類	使用量	・POX ・L4X	・X-1		※2成分形アルキル樹脂系	※製造所の仕様による	改修用ドレン	・X-1H		・ふっ素樹脂系		・設けない	・X-2		・アクリル樹脂系			・X-2H					⑦ 保証書 (シーリング除く) ⑧ 高日射反射率塗料塗り	⑦ 保証書 (シーリング除く) ⑧ 高日射反射率塗料塗り
工法	種別	施工箇所	厚さ(mm)					仕上塗料			備考																																																																																																														
				種類	使用量																																																																																																																				
・POS ・S4S	・S-F1		※1.2	※製造所の仕様による	改修用ドレン																																																																																																																				
	・S-F2		※2.0 ・1.5		・設ける ・設けない																																																																																																																				
	・S-M1		※1.5	※製造所の仕様による																																																																																																																					
	・S-M2		※1.5																																																																																																																						
・S3S	・S-F1		※1.2	※製造所の仕様による	改修用ドレン																																																																																																																				
	・S-F2		※2.0 ・1.5		・設ける ・設けない																																																																																																																				
	・S-M1		※1.5	※製造所の仕様による	改修用ドレン																																																																																																																				
	・S-M2		※1.5		・設ける ・設けない																																																																																																																				
・M4S	・S-M1		※1.5	※製造所の仕様による	改修用ドレン																																																																																																																				
	・S-M2		※1.5		・設ける ・設けない																																																																																																																				
	・POS1 ・S3S1 ・S4S1	・SI-F1 ・SI-F2	※1.2 ※2.0 ・1.5	※製造所の仕様による	改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																																																				
	・M4S1	・SI-M1 ・SI-M2	※1.5 ※1.5	※製造所の仕様による																																																																																																																					
・P1S	・S-C1	※1.0		立上り保護 モルタルの塗厚 ・図示 ・7mm																																																																																																																					
工法	材料	厚さ																																																																																																																							
機械的固定工法	JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ポリフォーム断熱材2種1号又は2号	・図示																																																																																																																							
接着工法	JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ポリフォーム断熱材2種1号又は2号	・図示																																																																																																																							
工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反射率塗料の適用	備考																																																																																																																			
			種類	使用量																																																																																																																					
・POX ・L4X	・X-1		※2成分形アルキル樹脂系	※製造所の仕様による	改修用ドレン																																																																																																																				
	・X-1H		・ふっ素樹脂系		・設けない																																																																																																																				
	・X-2		・アクリル樹脂系																																																																																																																						
	・X-2H																																																																																																																								
31 撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。	① 材料品質	可とう性エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による <table border="1"> <tr><th>比重</th><th>押出し性(秒)</th><th>スランプ(Mm)</th><th>質量変化率(%)</th><th>引張り強さ(MPa)</th><th>破断時伸び(%)</th><th>引張り接着性</th></tr> <tr><td>表示値±0.10</td><td>60以下</td><td>3.0以下</td><td>5.0以下</td><td>標準 1.0以上</td><td>標準 30.0以上</td><td>最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上</td></tr> </table> 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後も、品質・性能が上記の各項目に適合していること。  外壁改修工事(共通事項) ① 材料品質 可とう性エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。 <table border="1"> <tr><th>初期硬化性(MPa)</th><th>接着強さ(MPa)</th><th>圧縮強さ(MPa)</th><th>曲げ強さ(MPa)</th><th>硬化収縮率(%)</th></tr> <tr><td>標準2.0以上</td><td>標準6.0以上</td><td>50.0以上</td><td>30.0以上</td><td>3.0以下</td></tr> </table> 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後も、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 4)試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。  エポキシ樹脂モルタル [4.2.4] JIS A 6024による。 <table border="1"> <tr><th>だれ</th><th>接着強さ(MPa)</th><th>圧縮強さ(MPa)</th><th>曲げ強さ(MPa)</th></tr> <tr><td>形状に異常がなく、だれが生じないこと</td><td>1.0以上</td><td>20.0以上</td><td>10.0以上 (3日後の値)</td></tr> </table> 1)こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 4)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月間保存した後も、品質・性能が上記の各項目に適合していること。  ポリマーセメントモルタル [4.2.4] <table border="1"> <tr><th>だれ</th><th>曲げ強さ(N/mm2)</th><th>圧縮強さ(N/mm2)</th><th colspan="2">接着強さ(N/mm2)</th></tr> <tr><td>下がり量</td><td rowspan="2">6.0以上</td><td rowspan="2">20.0以上</td><td>標準条件</td><td>特殊条件</td></tr> <tr><td>5mm以内</td><td>湿潤時</td><td>低湿時</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>1.0以上</td><td>0.8以上 0.5以上</td></tr> </table> 1)透水性 裏面のぬれ、水漏の付着がないこと。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルジョンは、常温常湿において製造後6ヶ月間保存しても変質しないこと。  ポリマーセメントスラリー [4.3.5] <table border="1"> <tr><th>広がりの速さ(cm/s)</th><th>長さ変化率(収縮)(%)</th><th>引張接着性(材齢28日)(N/mm2)</th><th>曲げ強度(材齢28日)(N/mm2)</th><th>吸水率(72時間)(%)</th><th>劣化曲げ強さ(N/mm2)</th></tr> <tr><td>3以上</td><td>3以下</td><td>0.49以上</td><td>4.9以上</td><td>15以下</td><td>4.9以上</td></tr> </table> 1)保水係数 0.35~0.55 2)粘調係数 0.50~1.00 3)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 4)ポリマーセメントスラリー用の材料は、常温常湿において製造後6ヶ月間保存しても変質しないこと。	比重	押出し性(秒)	スランプ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性	表示値±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	標準 1.0以上	標準 30.0以上	最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上	初期硬化性(MPa)	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)	硬化収縮率(%)	標準2.0以上	標準6.0以上	50.0以上	30.0以上	3.0以下	だれ	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)	形状に異常がなく、だれが生じないこと	1.0以上	20.0以上	10.0以上 (3日後の値)	だれ	曲げ強さ(N/mm2)	圧縮強さ(N/mm2)	接着強さ(N/mm2)		下がり量	6.0以上	20.0以上	標準条件	特殊条件	5mm以内	湿潤時	低湿時				1.0以上	0.8以上 0.5以上	広がりの速さ(cm/s)	長さ変化率(収縮)(%)	引張接着性(材齢28日)(N/mm2)	曲げ強度(材齢28日)(N/mm2)	吸水率(72時間)(%)	劣化曲げ強さ(N/mm2)	3以上	3以下	0.49以上	4.9以上	15以下	4.9以上																																																								
比重	押出し性(秒)	スランプ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性																																																																																																																			
表示値±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	標準 1.0以上	標準 30.0以上	最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上																																																																																																																			
初期硬化性(MPa)	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)	硬化収縮率(%)																																																																																																																					
標準2.0以上	標準6.0以上	50.0以上	30.0以上	3.0以下																																																																																																																					
だれ	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)																																																																																																																						
形状に異常がなく、だれが生じないこと	1.0以上	20.0以上	10.0以上 (3日後の値)																																																																																																																						
だれ	曲げ強さ(N/mm2)	圧縮強さ(N/mm2)	接着強さ(N/mm2)																																																																																																																						
下がり量	6.0以上	20.0以上	標準条件	特殊条件																																																																																																																					
5mm以内			湿潤時	低湿時																																																																																																																					
			1.0以上	0.8以上 0.5以上																																																																																																																					
広がりの速さ(cm/s)	長さ変化率(収縮)(%)	引張接着性(材齢28日)(N/mm2)	曲げ強度(材齢28日)(N/mm2)	吸水率(72時間)(%)	劣化曲げ強さ(N/mm2)																																																																																																																				
3以上	3以下	0.49以上	4.9以上	15以下	4.9以上																																																																																																																				
32 不当要求等への対応	暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次による。 a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。 d) 受注者が、不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。	33 消防計画	工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事中の部分の安全を確保するため、承約者の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承認を得て届出を行う。	34 工事特性等	受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。																																																																																																																				
仮設工事(改修)		4 塗膜防水	防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1~表3.6.3] <table border="1"> <tr><th rowspan="2">工法</th><th rowspan="2">種別</th><th rowspan="2">施工箇所</th><th colspan="2">仕上塗料</th><th rowspan="2">高日射反射率塗料の適用</th><th rowspan="2">備考</th></tr> <tr><th>種類</th><th>使用量</th></tr> <tr><td rowspan="4">・POX ・L4X</td><td>・X-1</td><td></td><td>※2成分形アルキル樹脂系</td><td>※製造所の仕様による</td><td>改修用ドレン</td></tr> <tr><td>・X-1H</td><td></td><td>・ふっ素樹脂系</td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td>・X-2</td><td></td><td>・アクリル樹脂系</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・X-2H</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様による [3.6.3] ウレタン防水材 ※化学物質MOCAを含有しないもの	工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反射率塗料の適用	備考	種類	使用量	・POX ・L4X	・X-1		※2成分形アルキル樹脂系	※製造所の仕様による	改修用ドレン	・X-1H		・ふっ素樹脂系		・設けない	・X-2		・アクリル樹脂系			・X-2H					係	係長	課長補佐	課長	図面番号																																																																																			
工法	種別	施工箇所	仕上塗料				高日射反射率塗料の適用	備考																																																																																																																	
			種類	使用量																																																																																																																					
・POX ・L4X	・X-1		※2成分形アルキル樹脂系	※製造所の仕様による	改修用ドレン																																																																																																																				
	・X-1H		・ふっ素樹脂系		・設けない																																																																																																																				
	・X-2		・アクリル樹脂系																																																																																																																						
	・X-2H																																																																																																																								
		高知市 都市建設部 公共建築課		工事名 南海中学校中舎外壁改修工事		02																																																																																																																			
				図面名 改修特記仕様書(2) 縮尺 1/		作図 令和8年4月 日																																																																																																																			

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																																																				
	<p>既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、 混和材等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>保水率 (%)</th> <th>単位容積質量 (kg/L)</th> <th>接着強さ</th> <th>長さ変化率 (%)</th> <th>曲げ強さ (N/mm<sup>2</sup>)</th> </tr> <tr> <td>70.0以上</td> <td>1.8以上</td> <td>0.6N/mm<sup>2</sup>以上 0.4N/mm<sup>2</sup>以上</td> <td>0.2以下</td> <td>4.0以上</td> </tr> </table> <p>[4.3.10]</p>	保水率 (%)	単位容積質量 (kg/L)	接着強さ	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )	70.0以上	1.8以上	0.6N/mm <sup>2</sup> 以上 0.4N/mm <sup>2</sup> 以上	0.2以下	4.0以上	ひび割れ部改修工法	<p>※樹脂注入工法 [4.2.5][4.4.2][4.4.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>※ 200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※ 50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>※ 100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>※ 150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コバ抜き検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70		0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130	③ 仕上塗材仕上げ	<p>薄付け仕上げ塗材 [4.1.5][4.5.2][4.5.6][表4.5.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>吹付け ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材Si</td> <td>・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>吹付け ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・凹凸状 ・着色骨材砂壁状</td> <td>吹付け ローラー ローラー 吹付け 吹付け 吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>吹付け ローラー ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材E</td> <td>・ゆず肌状 ・凹凸状</td> <td>吹付け ローラー</td> <td>増塗材 ・適用する</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> </table> <p>厚付け仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材C</td> <td>・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし</td> <td>吹付け ローラー</td> <td>セメント系以外の塗材</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材Si</td> <td>・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし</td> <td>吹付け ローラー</td> <td>上塗材 ・適用する</td> </tr> </table> <p>複層仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・複層塗材CE</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td>耐水性 ※耐炭形3種</td> </tr> <tr> <td>○複層塗材E</td> <td>・ゆず肌状 ・凹凸状</td> <td>吹付け</td> <td>上塗材の種類[表4.5.2] ※水系7割かつあり</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材RE</td> <td>・凹凸状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材CE</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材CE</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td>増塗材 ・適用する</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材RE</td> <td>・凹凸状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> </table> <p>防火材料の指定 ※なし ・あり(※図示) [4.5.2]</p>	呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	吹付け ローラー		・可とう形外装薄塗材Si	・ゆず肌状 ・さざ波状	吹付け ローラー		○外装薄塗材E	・砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・凹凸状 ・着色骨材砂壁状	吹付け ローラー ローラー 吹付け 吹付け 吹付け		・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	吹付け ローラー ローラー		・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・凹凸状	吹付け ローラー	増塗材 ・適用する	・外装薄塗材S	・砂壁状	吹付け		呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・外装厚塗材C	・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし	吹付け ローラー	セメント系以外の塗材	・外装厚塗材Si	・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし	吹付け ローラー	上塗材 ・適用する	呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	耐水性 ※耐炭形3種	○複層塗材E	・ゆず肌状 ・凹凸状	吹付け	上塗材の種類[表4.5.2] ※水系7割かつあり	・複層塗材RE	・凹凸状	吹付け		・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー		・防水形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	増塗材 ・適用する	・防水形複層塗材RE	・凹凸状	吹付け																																																																			
保水率 (%)	単位容積質量 (kg/L)	接着強さ	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )																																																																																																																																																																					
70.0以上	1.8以上	0.6N/mm <sup>2</sup> 以上 0.4N/mm <sup>2</sup> 以上	0.2以下	4.0以上																																																																																																																																																																					
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)																																																																																																																																																																						
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																																																																						
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40																																																																																																																																																																						
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70																																																																																																																																																																						
	0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130																																																																																																																																																																						
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																																																																																																						
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	吹付け ローラー																																																																																																																																																																							
・可とう形外装薄塗材Si	・ゆず肌状 ・さざ波状	吹付け ローラー																																																																																																																																																																							
○外装薄塗材E	・砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・凹凸状 ・着色骨材砂壁状	吹付け ローラー ローラー 吹付け 吹付け 吹付け																																																																																																																																																																							
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	吹付け ローラー ローラー																																																																																																																																																																							
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・凹凸状	吹付け ローラー	増塗材 ・適用する																																																																																																																																																																						
・外装薄塗材S	・砂壁状	吹付け																																																																																																																																																																							
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																																																																																																						
・外装厚塗材C	・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし	吹付け ローラー	セメント系以外の塗材																																																																																																																																																																						
・外装厚塗材Si	・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし	吹付け ローラー	上塗材 ・適用する																																																																																																																																																																						
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																																																																																																						
・複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	耐水性 ※耐炭形3種																																																																																																																																																																						
○複層塗材E	・ゆず肌状 ・凹凸状	吹付け	上塗材の種類[表4.5.2] ※水系7割かつあり																																																																																																																																																																						
・複層塗材RE	・凹凸状	吹付け																																																																																																																																																																							
・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー																																																																																																																																																																							
・防水形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	増塗材 ・適用する																																																																																																																																																																						
・防水形複層塗材RE	・凹凸状	吹付け																																																																																																																																																																							
外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ	<p>※樹脂注入工法 [4.2.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※ 200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※ 50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>※ 100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>※ 150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コバ抜き検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>・Uカットシール材充填工法 [4.2.6]</p> <p>シール材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7]</p> <p>・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>※充填工法 [4.2.8]</p> <p>※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70		0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130	3 欠損部改修工法	<p>・タイル部分張替え工法 [4.4.5][4.4.7]</p> <p>張付け材料の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・有機系接着剤 ※JIS A 5557による一液反応硬化形成シリコーン樹脂系</p> <p>・タイル張替え工法 [4.4.2][4.4.5][4.4.8]</p> <p>張付けモルタル ・現場調合モルタル ・既調合モルタル 伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地の位置 ※表4.4.2による ・図示 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着剤試験 ・行う ・行わない</p> <p>セメントモルタルによるタイル張り タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤によるタイル張り タイルの種類 ( ) 目地詰め ( ) ・行う ( ) ・行わない ( )</p> <p>・下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※目荒し工法 [4.4.8]</p>	④ 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ	<p>① ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※ 200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※ 50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>※ 100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>※ 150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コバ抜き検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>○Uカットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7]</p> <p>シール材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7][4.3.8]</p> <p>・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>2 欠損部改修工法</p> <p>※充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9]</p> <p>※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10]</p> <p>仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示</p> <p>③ 浮き部改修工法</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類</th> <th colspan="3">アンカーピンの本数</th> <th colspan="3">注入口の箇所数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>一般部分 本/m<sup>2</sup></th> <th>指定部分 本/m<sup>2</sup></th> <th>狭幅部 本/m</th> <th>一般部分 箇所/m<sup>2</sup></th> <th>指定部分 箇所/m<sup>2</sup></th> <th>狭幅部 箇所/m</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※5.0mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※5.0mL</td> </tr> </table> <p>アンカーピン [4.3.5]</p> <p>※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。</p> <p>※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm [4.3.5]</p> <p>・タイル部分張替え工法 [4.4.7]</p> <p>張付け材料の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・有機系接着剤 ※JIS A 5557による一液反応硬化形成シリコーン樹脂系</p> <p>・タイル張替え工法 [4.4.8]</p> <p>張付けモルタル ・現場調合モルタル ・既調合モルタル 伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地の位置 ※表4.4.2による ・図示 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着剤試験 ・行う ・行わない ・セメントモルタルによるタイル張り タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤によるタイル張り ・下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※目荒し工法</p> <p>5 目地改修工法</p> <p>・目地ひび割れ部改修工法 [4.4.16]</p> <p>・伸縮調整目地改修工法 [4.4.16]</p> <p>伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70		0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130	改修工法の種類	アンカーピンの本数			注入口の箇所数			備考	一般部分 本/m <sup>2</sup>	指定部分 本/m <sup>2</sup>	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m <sup>2</sup>	指定部分 箇所/m <sup>2</sup>	狭幅部 箇所/m	・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※2.5mL	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※2.5mL	・アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※5.0mL	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※2.5mL	・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※2.5mL	・注入口付アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※5.0mL																																																														
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)																																																																																																																																																																						
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																																																																						
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40																																																																																																																																																																						
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70																																																																																																																																																																						
	0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130																																																																																																																																																																						
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)																																																																																																																																																																						
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																																																																						
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40																																																																																																																																																																						
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70																																																																																																																																																																						
	0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130																																																																																																																																																																						
改修工法の種類	アンカーピンの本数			注入口の箇所数			備考																																																																																																																																																																		
	一般部分 本/m <sup>2</sup>	指定部分 本/m <sup>2</sup>	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m <sup>2</sup>	指定部分 箇所/m <sup>2</sup>	狭幅部 箇所/m																																																																																																																																																																			
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※2.5mL																																																																																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※2.5mL																																																																																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※5.0mL																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※2.5mL																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※2.5mL																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※5.0mL																																																																																																																																																																		
外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ	<p>① ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※ 200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※ 50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>※ 100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>※ 150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コバ抜き検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>○Uカットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7]</p> <p>シール材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7][4.3.8]</p> <p>・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>2 欠損部改修工法</p> <p>※充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9]</p> <p>※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10]</p> <p>仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示</p> <p>③ 浮き部改修工法</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類</th> <th colspan="3">アンカーピンの本数</th> <th colspan="3">注入口の箇所数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>一般部分 本/m<sup>2</sup></th> <th>指定部分 本/m<sup>2</sup></th> <th>狭幅部 本/m</th> <th>一般部分 箇所/m<sup>2</sup></th> <th>指定部分 箇所/m<sup>2</sup></th> <th>狭幅部 箇所/m</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※5.0mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※5.0mL</td> </tr> </table> <p>アンカーピン [4.3.5]</p> <p>※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。</p> <p>注入口付アンカーピン [4.3.5]</p> <p>※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm</p> <p>・充填工法 [4.2.6][4.3.7]</p> <p>材料 ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10]</p> <p>仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70		0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130	改修工法の種類	アンカーピンの本数			注入口の箇所数			備考	一般部分 本/m <sup>2</sup>	指定部分 本/m <sup>2</sup>	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m <sup>2</sup>	指定部分 箇所/m <sup>2</sup>	狭幅部 箇所/m	・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※2.5mL	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※2.5mL	・アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※5.0mL	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※2.5mL	・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※2.5mL	・注入口付アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※5.0mL	① 既存塗膜等の除去及び 下地処理	<p>既存塗膜の劣化部の除去及び下地の処理の工法 [4.5.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> </tr> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・図示</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・図示</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離剤工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・図示</td> </tr> <tr> <td>※水洗工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体</td> </tr> </table> <p>石含有仕上塗材の除去は、環境配慮改修工事による。</p>	工法	処理範囲	・サンダー工法	※既存仕上面全体 ・図示	・高圧水洗工法	※既存仕上面全体 ・図示	・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体 ・図示	※水洗工法	※既存仕上面全体 ・図示		・他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体	④ 外壁改修工事 仕上げ塗材仕上げ	<p>① 既存塗膜等の除去及び 下地処理</p> <p>既存塗膜の劣化部の除去及び下地の処理の工法 [4.5.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> </tr> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・図示</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・図示</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離剤工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・図示</td> </tr> <tr> <td>※水洗工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体</td> </tr> </table> <p>石含有仕上塗材の除去は、環境配慮改修工事による。</p>	工法	処理範囲	・サンダー工法	※既存仕上面全体 ・図示	・高圧水洗工法	※既存仕上面全体 ・図示	・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体 ・図示	※水洗工法	※既存仕上面全体 ・図示		・他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体																																																										
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)																																																																																																																																																																						
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																																																																						
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40																																																																																																																																																																						
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70																																																																																																																																																																						
	0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130																																																																																																																																																																						
改修工法の種類	アンカーピンの本数			注入口の箇所数			備考																																																																																																																																																																		
	一般部分 本/m <sup>2</sup>	指定部分 本/m <sup>2</sup>	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m <sup>2</sup>	指定部分 箇所/m <sup>2</sup>	狭幅部 箇所/m																																																																																																																																																																			
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※2.5mL																																																																																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※2.5mL																																																																																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※5.0mL																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※2.5mL																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※2.5mL																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※5.0mL																																																																																																																																																																		
工法	処理範囲																																																																																																																																																																								
・サンダー工法	※既存仕上面全体 ・図示																																																																																																																																																																								
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体 ・図示																																																																																																																																																																								
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体 ・図示																																																																																																																																																																								
※水洗工法	※既存仕上面全体 ・図示																																																																																																																																																																								
	・他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体																																																																																																																																																																								
工法	処理範囲																																																																																																																																																																								
・サンダー工法	※既存仕上面全体 ・図示																																																																																																																																																																								
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体 ・図示																																																																																																																																																																								
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体 ・図示																																																																																																																																																																								
※水洗工法	※既存仕上面全体 ・図示																																																																																																																																																																								
	・他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体																																																																																																																																																																								
外壁改修工事 タイル張り仕上げ	<p>① ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※ 200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※ 50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>※ 100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>※ 150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コバ抜き検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>○Uカットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7]</p> <p>シール材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7][4.3.8]</p> <p>・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>2 欠損部改修工法</p> <p>※充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9]</p> <p>※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10]</p> <p>仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示</p> <p>③ 浮き部改修工法</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類</th> <th colspan="3">アンカーピンの本数</th> <th colspan="3">注入口の箇所数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>一般部分 本/m<sup>2</sup></th> <th>指定部分 本/m<sup>2</sup></th> <th>狭幅部 本/m</th> <th>一般部分 箇所/m<sup>2</sup></th> <th>指定部分 箇所/m<sup>2</sup></th> <th>狭幅部 箇所/m</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※5.0mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※5.0mL</td> </tr> </table> <p>アンカーピン [4.3.5]</p> <p>※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。</p> <p>注入口付アンカーピン [4.3.5]</p> <p>※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm</p> <p>・充填工法 [4.2.6][4.3.7]</p> <p>材料 ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10]</p> <p>仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70		0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130	改修工法の種類	アンカーピンの本数			注入口の箇所数			備考	一般部分 本/m <sup>2</sup>	指定部分 本/m <sup>2</sup>	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m <sup>2</sup>	指定部分 箇所/m <sup>2</sup>	狭幅部 箇所/m	・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※2.5mL	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※2.5mL	・アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※5.0mL	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※2.5mL	・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※2.5mL	・注入口付アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※5.0mL	② 下地調整材	<p>② 下地調整材</p> <p>材料 ※下地調整塗材 ※C-1( ) ・C-2( ) ・CM-2( ) [4.5.2~4.5.4]</p> <p>・ポリマーセメントモルタル ・合成樹脂エマルジョンシーラー</p> <p>工法 ※製造所の仕様による [4.5.4]</p>	④ 外壁改修工事 タイル張り仕上げ	<p>① ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※ 200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※ 50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>※ 100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>※ 150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コバ抜き検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>○Uカットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7]</p> <p>シール材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7][4.3.8]</p> <p>・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>2 欠損部改修工法</p> <p>※充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9]</p> <p>※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10]</p> <p>仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示</p> <p>③ 浮き部改修工法</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類</th> <th colspan="3">アンカーピンの本数</th> <th colspan="3">注入口の箇所数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>一般部分 本/m<sup>2</sup></th> <th>指定部分 本/m<sup>2</sup></th> <th>狭幅部 本/m</th> <th>一般部分 箇所/m<sup>2</sup></th> <th>指定部分 箇所/m<sup>2</sup></th> <th>狭幅部 箇所/m</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※5.0mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※5.0mL</td> </tr> </table> <p>アンカーピン [4.3.5]</p> <p>※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。</p> <p>注入口付アンカーピン [4.3.5]</p> <p>※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm</p> <p>・充填工法 [4.2.6][4.3.7]</p> <p>材料 ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10]</p> <p>仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70		0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130	改修工法の種類	アンカーピンの本数			注入口の箇所数			備考	一般部分 本/m <sup>2</sup>	指定部分 本/m <sup>2</sup>	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m <sup>2</sup>	指定部分 箇所/m <sup>2</sup>	狭幅部 箇所/m	・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※2.5mL	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※2.5mL	・アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※5.0mL	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※2.5mL	・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※2.5mL	・注入口付アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※5.0mL
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)																																																																																																																																																																						
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																																																																						
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40																																																																																																																																																																						
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70																																																																																																																																																																						
	0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130																																																																																																																																																																						
改修工法の種類	アンカーピンの本数			注入口の箇所数			備考																																																																																																																																																																		
	一般部分 本/m <sup>2</sup>	指定部分 本/m <sup>2</sup>	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m <sup>2</sup>	指定部分 箇所/m <sup>2</sup>	狭幅部 箇所/m																																																																																																																																																																			
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※2.5mL																																																																																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※2.5mL																																																																																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※5.0mL																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※2.5mL																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※2.5mL																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※5.0mL																																																																																																																																																																		
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)																																																																																																																																																																						
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																																																																						
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40																																																																																																																																																																						
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70																																																																																																																																																																						
	0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130																																																																																																																																																																						
改修工法の種類	アンカーピンの本数			注入口の箇所数			備考																																																																																																																																																																		
	一般部分 本/m <sup>2</sup>	指定部分 本/m <sup>2</sup>	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m <sup>2</sup>	指定部分 箇所/m <sup>2</sup>	狭幅部 箇所/m																																																																																																																																																																			
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※2.5mL																																																																																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※2.5mL																																																																																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※5.0mL																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※2.5mL																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※2.5mL																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※5.0mL																																																																																																																																																																		
外壁改修工事 タイル張り仕上げ	<p>① ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※ 200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※ 50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>※ 100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>※ 150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コバ抜き検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>○Uカットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7]</p> <p>シール材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7][4.3.8]</p> <p>・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>2 欠損部改修工法</p> <p>※充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9]</p> <p>※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10]</p> <p>仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示</p> <p>③ 浮き部改修工法</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類</th> <th colspan="3">アンカーピンの本数</th> <th colspan="3">注入口の箇所数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>一般部分 本/m<sup>2</sup></th> <th>指定部分 本/m<sup>2</sup></th> <th>狭幅部 本/m</th> <th>一般部分 箇所/m<sup>2</sup></th> <th>指定部分 箇所/m<sup>2</sup></th> <th>狭幅部 箇所/m</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※5.0mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※2.5mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※5.0mL</td> </tr> </table> <p>アンカーピン [4.3.5]</p> <p>※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。</p> <p>注入口付アンカーピン [4.3.5]</p> <p>※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm</p> <p>・充填工法 [4.2.6][4.3.7]</p> <p>材料 ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10]</p> <p>仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70		0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130	改修工法の種類	アンカーピンの本数			注入口の箇所数			備考	一般部分 本/m <sup>2</sup>	指定部分 本/m <sup>2</sup>	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m <sup>2</sup>	指定部分 箇所/m <sup>2</sup>	狭幅部 箇所/m	・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※2.5mL	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※2.5mL	・アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※5.0mL	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※2.5mL	・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※2.5mL	・注入口付アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※5.0mL	④ 外壁改修工事 タイル張り仕上げ	<p>④ 外壁改修工事 仕上げ塗材仕上げ</p> <p>④ 外壁改修工事 仕上げ塗材仕上げ</p> <p>④ 外壁改修工事 仕上げ塗材仕上げ</p> <p>④ 外壁改修工事 仕上げ塗材仕上げ</p>																																																																																				
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)																																																																																																																																																																						
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																																																																						
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40																																																																																																																																																																						
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70																																																																																																																																																																						
	0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130																																																																																																																																																																						
改修工法の種類	アンカーピンの本数			注入口の箇所数			備考																																																																																																																																																																		
	一般部分 本/m <sup>2</sup>	指定部分 本/m <sup>2</sup>	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m <sup>2</sup>	指定部分 箇所/m <sup>2</sup>	狭幅部 箇所/m																																																																																																																																																																			
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※2.5mL																																																																																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※2.5mL																																																																																																																																																																		
・アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※5.0mL																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※2.5mL																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※2.5mL																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング 全面+マゼット材注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※5.0mL																																																																																																																																																																		
外壁改修工事 タイル張り仕上げ	<p>① ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※ 200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※ 50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>※ 100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>※ 150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コバ抜き検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>○Uカットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7]</p> <p>シール材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7][4.3.8]&lt;/</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70		0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130																																																																																																																																																				
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)																																																																																																																																																																						
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																																																																						
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40																																																																																																																																																																						
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70																																																																																																																																																																						
	0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130																																																																																																																																																																						

項目	特記事項	
⑤ 塗装の種類	[7.3.2、7.5.2~7.13.2][表7.5.1~表7.13.1]	
	略号	塗装
	・SOP	合成樹脂調合ペイント塗り 塗料の種類 ※1種
		塗装面
		塗替え
		新規
		木部(屋外)
		木部(屋内)
		鉄鋼面
		亜鉛めっき鋼面
		鋼製建具(亜鉛めっき鋼面)
	・CL	クリヤラッカー塗り
	・NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り
	・DP	耐候性塗料塗り 上塗り塗料等級 ・1級 ・2級 ・3級
	・EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り
・EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	
・UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	
・ステイン塗り	・ビグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)	
・WP	木材保護塗料塗り	
CL	A種の場合の塗料の種類	
UC	着色 ・適用する	
OS	仕様 ・図示	

環境配慮改修工事			
1 石綿含有建材の除去工事	石綿含有建材の有無及び除去等 [9.1.3~9.1.5]		
	石綿含有建材の種類 使用部位 使用材料 除去工法		
飛散性	・石綿含有吹付材 ※9.1.3による ・石綿含有保温材 ※9.1.3による		
非飛散性	・石綿含有成形板等 ※9.1.4による ・石綿含有成形板等 ※9.1.5による		
	石綿含有吹付け材の飛散防止処置 ※ 湿潤化 ・ 固形化		
	石綿含有仕上塗材の除去 [9.1.6] 使用部位 ( ) 使用材料 ( ) 除去工法 ※厚生労働省「石綿飛散源防止対策徹底マニュアル」による工法の内、飛散防止に関し隔離措置と同等と判断できる工法		
	除去範囲 ※ 図示 試験施工 ※ 行わない ・ 行う		
	処分 [9.1.3] 管理型・安定型を確認の上、廃棄物処理法による許可を受けた施設で適切に処理すること。		
	石綿粉じん濃度測定 [9.1.1] ※建築物石綿含有建材調査報告書により、監督職員と協議する。 ・ 行う ・ 行わない		
	測定時期 測定場所 測定名称 測定点		
処理作業前	・ 処理作業室内 ・ 施工区画周辺又は敷地境界	測定1 ※2点 測定2 ※2点	※3点 ・
処理作業中	・ 処理作業室内 ※ キュリティゾーン入口 ※ 集じん、排気装置の排出口(処理作業室外の場合) ※ 施工区画周辺又は敷地境界	測定3 ※2点 測定4 ※1点 測定5 ※1点	・ ・ ・
処理作業後(隔離シート撤去前)	※ 処理作業室内 ・ 施工区画周辺又は敷地境界	測定6 ※4方向 測定7 ※2点以上 測定8 ※4方向各1点	各1点 ・ 各1点
	測定方法 ・ JIS K3850-1に基づいた測定(測定4・測定5・測定6・測定7・測定8) ・ 自動測定器による測定(測定4・測定5)		

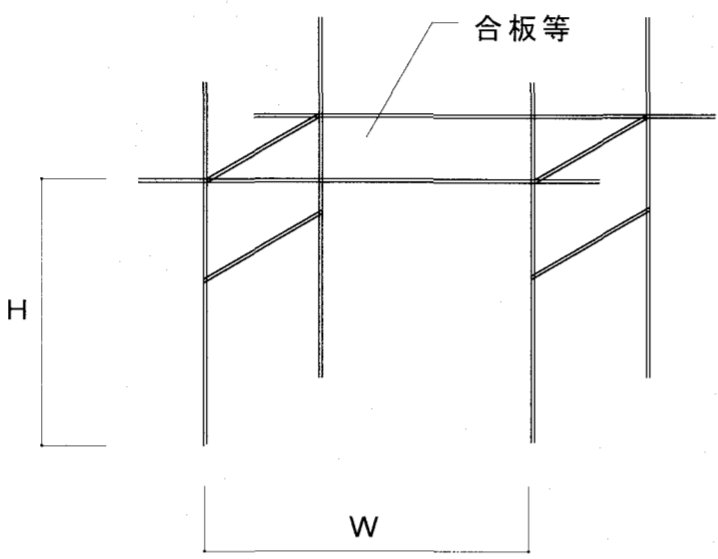




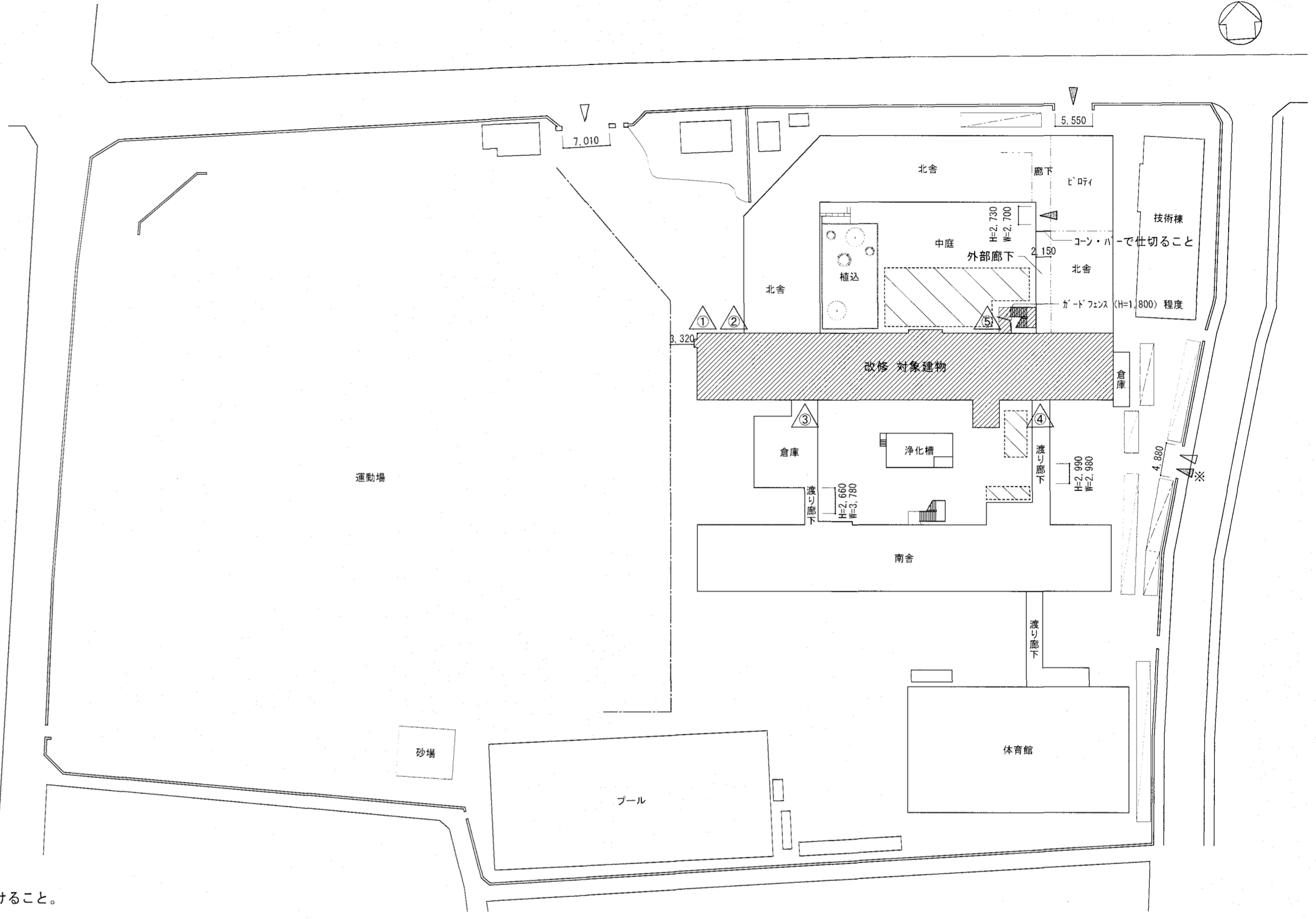
付近見取図

■ 仮設通路詳細図

- ① W=2,000程度 H=3,000程度
- ② W=2,000程度 H=3,000程度
- ③ W=4,500程度 H=3,200程度
- ④ W=3,000程度 H=3,200程度
- ⑤ W=2,000程度 H=2,000程度



合板等にて、足場及び足場と建物との間を三方養生を行うこと。  
出隅部は養生すること。



配置図兼仮設計画図 S=1:600

■ 施工条件・注意事項

- ① 工事に支障のない範囲で、屋内の換気が行えるように配慮すること。
- ② 外壁面に設置されている設備（配線・配管・室外機など）は既存のままとし、養生のうえ作業を行うこと。
- ③ 敷地北面の工事用車両出入口は特別支援学級に登校する生徒の出入口でもあるため、工事用車両の通行には安全に十分気をつけること。
- ④ 渡り廊下、外部廊下は施設利用者も使用するため、横断の際は十分注意すること。
- ⑤ BS777は外部足場設置後、外部足場に移動を行い、工事完了後元の位置に再設置すること。

■ 工事用車両通行禁止時間

- ・月、木曜日 7:50~8:25、15:30~16:15
- ・火、金曜日 7:50~8:25、15:50~16:35
- ・水曜日 7:50~8:25、14:30~15:15

■ 現場作業不可日

- 6月 8日(午後)、10日、15日(午後)、29日、30日
  - 7月 8日
  - 9月 9日、13日
  - 10月 9日、18日
  - 11月 13日、17日(午後)、26日、27日
- なお、学校行事予定が変更になる等、作業可能となる場合もあるため、事前に施設管理者に確認すること。

■ 音の出る作業（躯体の削孔及びはつり作業）可能時間

- ・夏季休業期間（7月18日～8月31日）及び休校日
  - ・右表「南海中学校 休み時間等表」の時間
- なお、学校行事予定が変更になる等、作業可能となる場合もあるため、事前に施設管理者に確認すること。

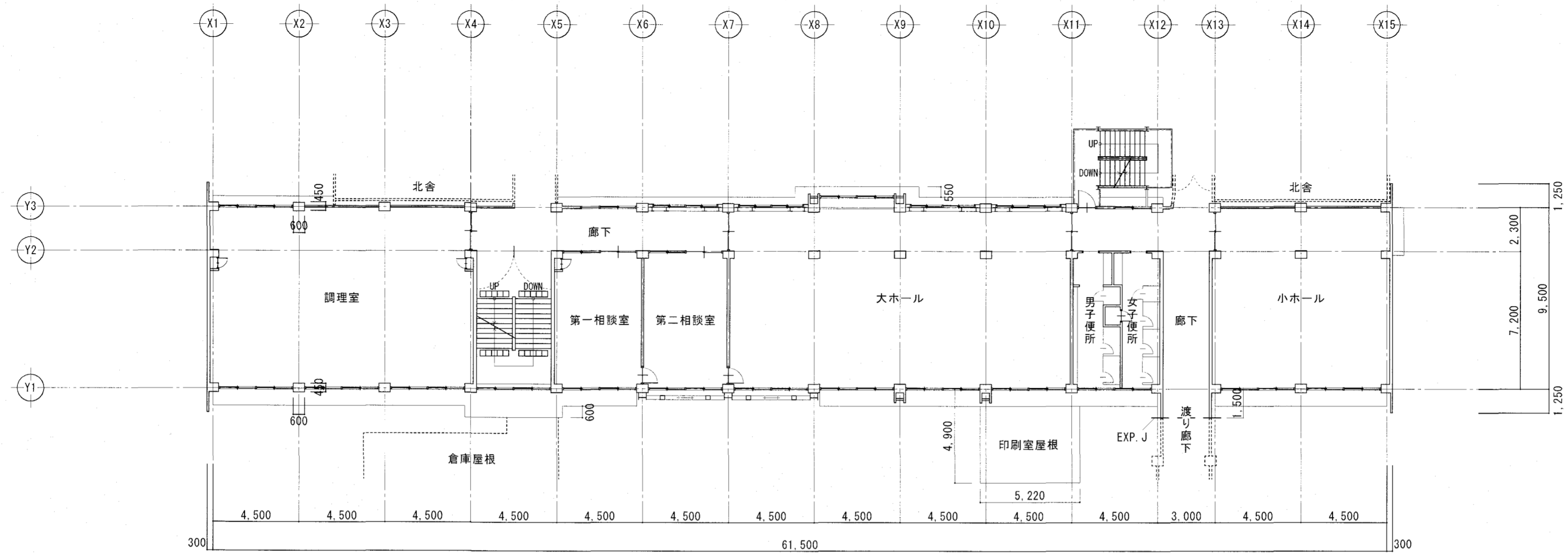
南海中学校 休み時間等表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
始業前	8:00~8:15				
10分休み	8:40~8:50、9:40~9:50、 10:40~10:50、11:40~11:50				
昼休み	13:10~13:25				
10分休み	14:20~14:30			14:20~14:30	
掃除		15:20~ 15:35			15:20~ 15:35
放課後	15:30~	15:50~	14:30~	15:30~	15:50~

- 《凡例》
- ▨ : 工事対象建物
  - ▤ : 工事用車両置場および資機材置場【資機材とする場合はガードフェンス(H=1,800)程度で囲うこと】
  - △ : 工事用車両出入口
  - △※ : 工事用車両出入口（足場設置及び撤去時は使用可）
  - △ : 一般用出入口（学校関係者）

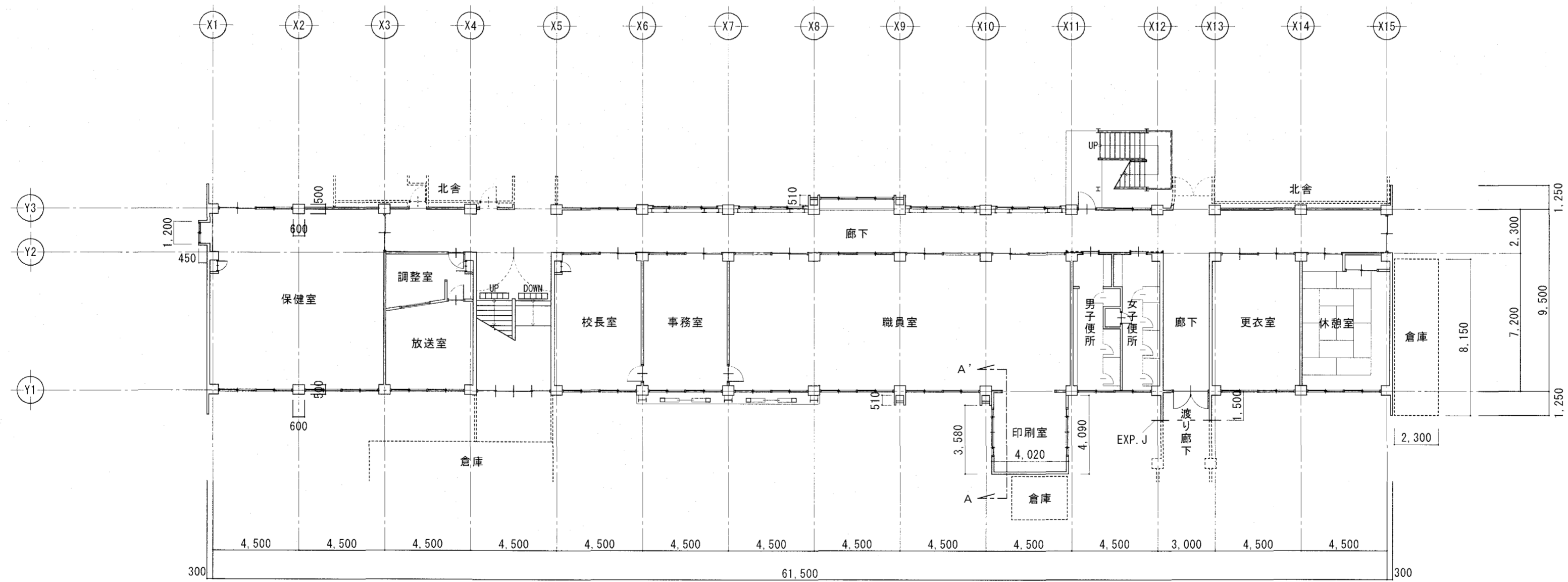
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	南海中学校中舎外壁改修工事				係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	付近見取図、配置図兼仮設計画図	縮尺	1 / 600	作図	R8年4月			05



2階 平面図 S=1:200

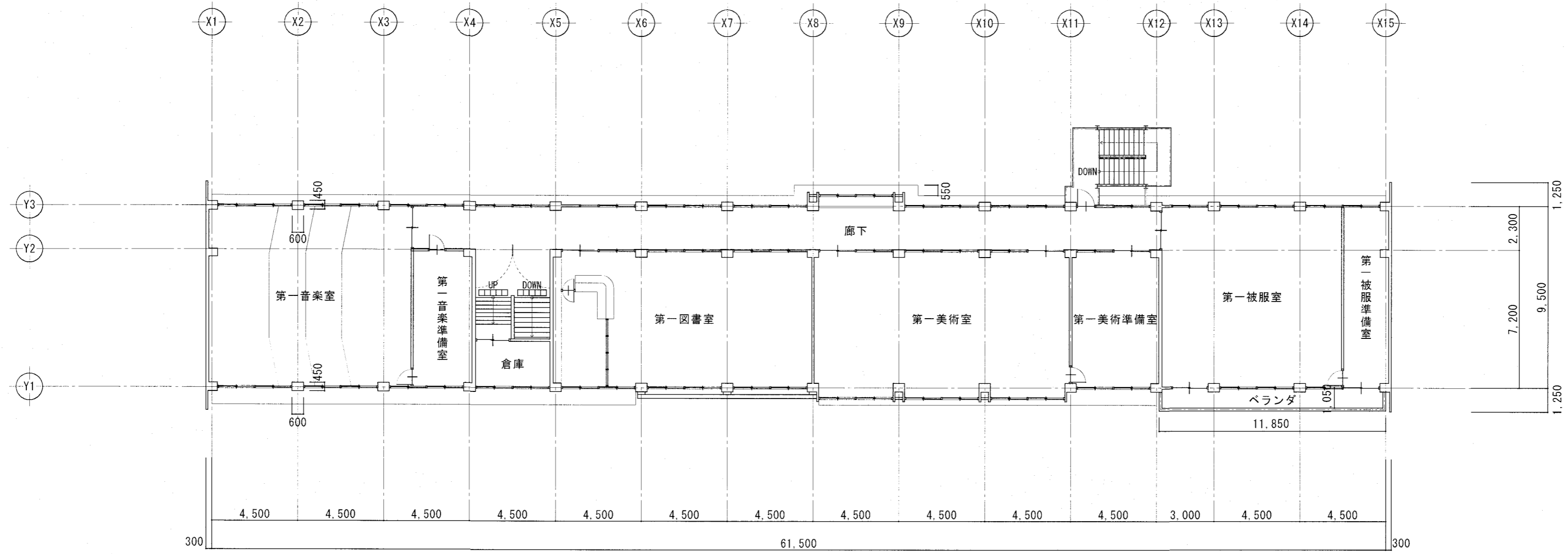
※内部改修なし



1階 平面図 S=1:200

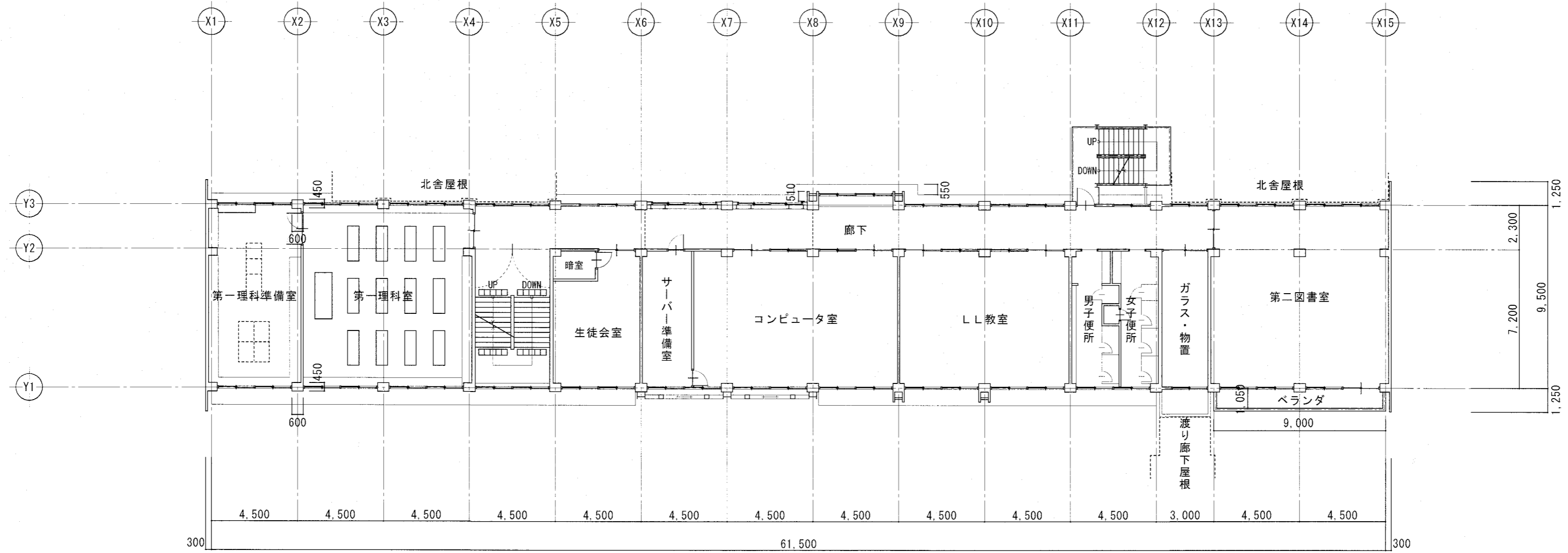
※内部改修なし

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名	南海中学校中舎外壁改修工事			
		係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		図面名	1、2階平面図		縮尺	1 / 200
		作図	R8年4月		日	06



4階 平面図 S=1:200

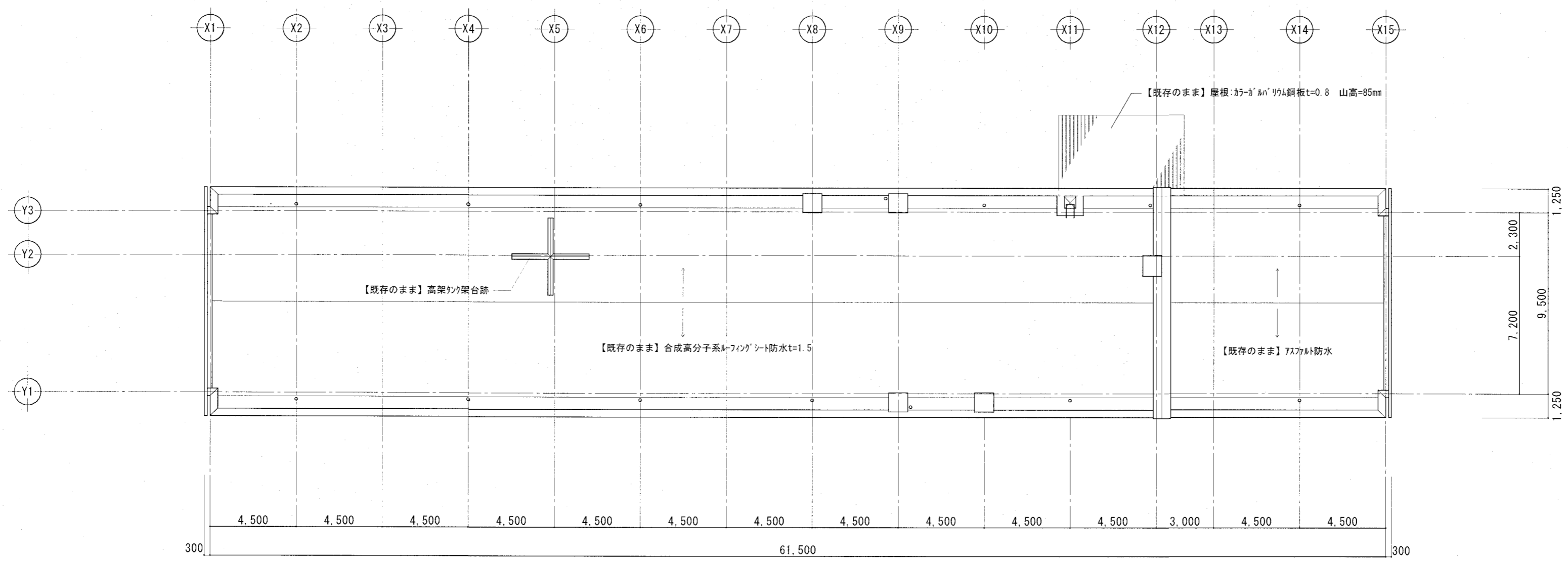
※内部改修なし



3階 平面図 S=1:200

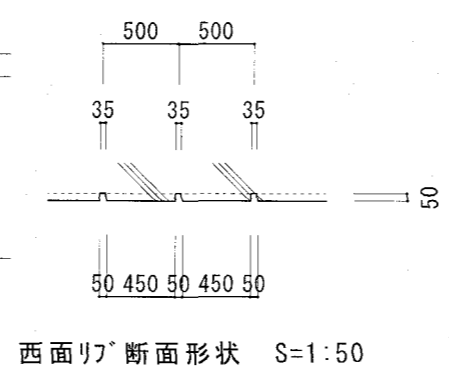
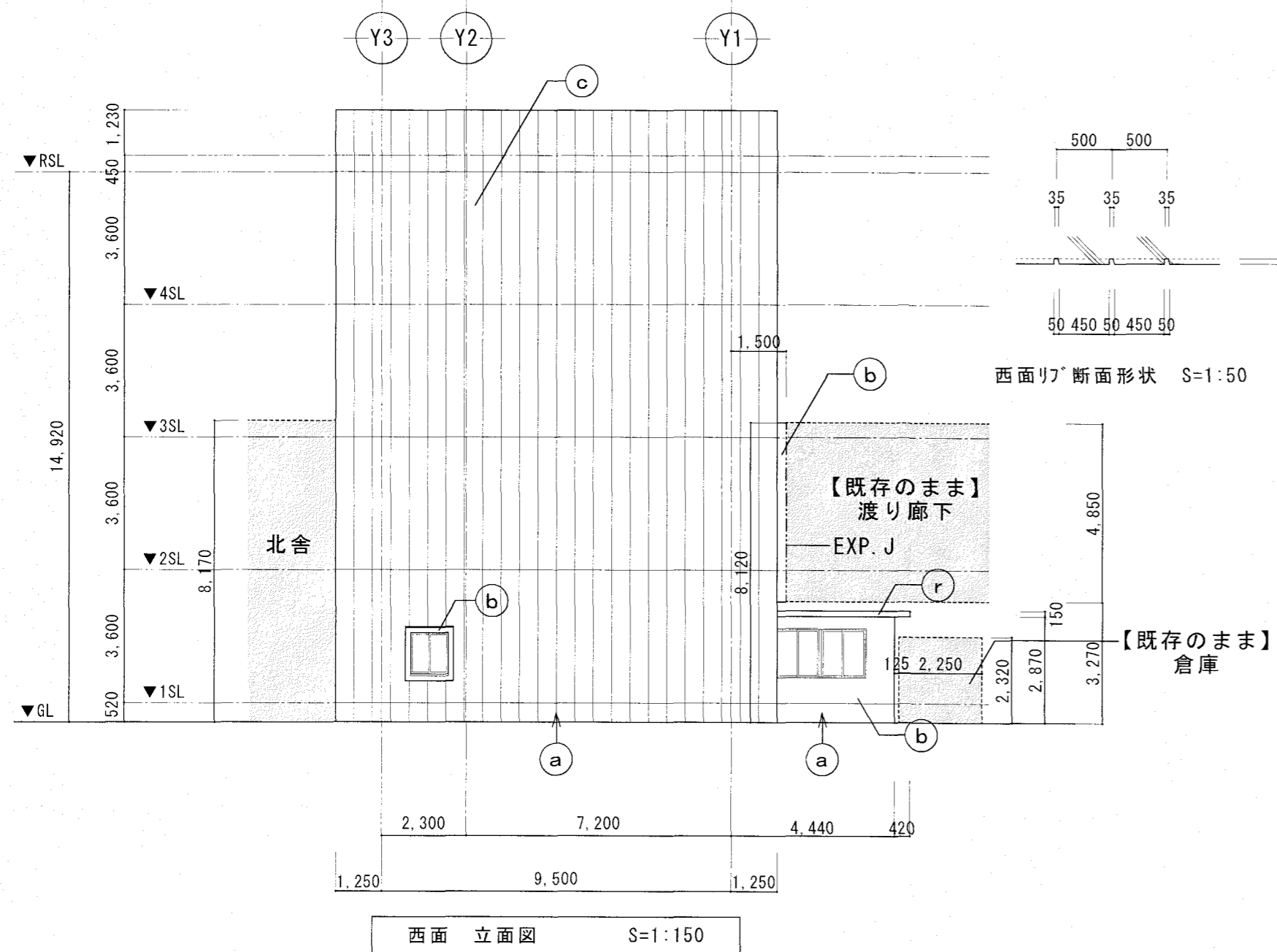
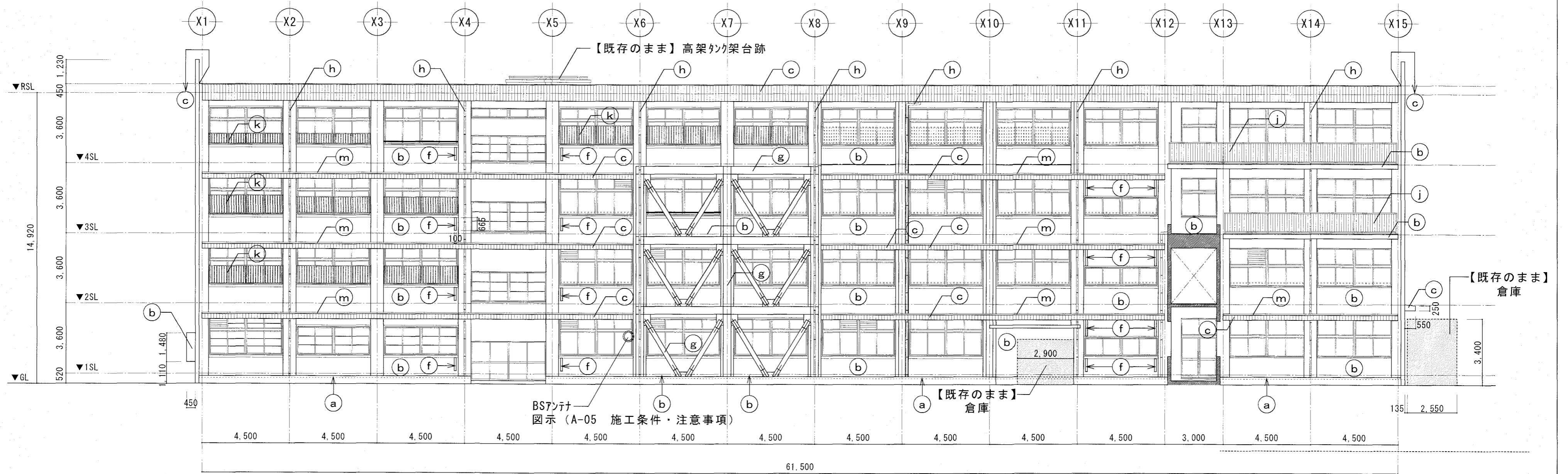
※内部改修なし

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名	南海中学校中舎外壁改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		図面名	3、4階平面図	2025.04 縮尺	1 / 200	作図	R8年4月	日



屋根伏図 S=1:200

		高知市 都市建設部 公共建築課		工事名 南海中学校中舎外壁改修工事		係 田邊	係長 笹岡	課長補佐 宮内	課長 松本	図面番号 08
				図面名 屋根伏図		縮尺 1 / 200		作図 R8年4月		日



記号	改修前	改修後
a	【既存のまま】モルタル塗り	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修
b	【既存のまま】モルタル=30下地 複層塗材E吹付	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→下地調整 (C-1) →複層塗材E
c	【既存のまま】コンクリート下地 複層塗材E吹付	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→下地調整 (C-1) →複層塗材E
d	【既存のまま】モルタル=30下地 外装薄塗材E吹付	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→外装薄塗材E
e	【既存のまま】コンクリート下地 外装薄塗材E吹付	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→外装薄塗材E
f	【既存のまま】アルミカー板t=2.0 W=100 L=665	【改修】水洗い
g	【既存のまま】鉄部：亜鉛アルミニウム溶射 DP塗	【既存のまま】
h	【撤去】たてどい：カーVP100φ SUSとい受金物共	【新設】たてどい：カーVP100φ SUSとい受金物共
i	【撤去】たてどい：カーVP75φ SUSとい受金物共	【新設】たてどい：カーVP75φ SUSとい受金物共
j	【既存のまま】アルミニウム製ベランダ手摺	【既存のまま】
k	【既存のまま】アルミニウム製格子窓手摺	【既存のまま】
l	【既存のまま】スチール製格子窓手摺：DP塗	【改修】DP塗替え
m	【既存のまま】庇天端：コンクリート下地 複層塗材E	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→下地調整 (C-1) →複層塗材E
n	【既存のまま】軒天(庇)：モルタル=30下地 外装薄塗材E	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→外装薄塗材E
o	【既存のまま】軒天(ハバット)：コンクリート下地 外装薄塗材E	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→外装薄塗材E
p	【既存のまま】鉄骨屋外階段：DP塗	【改修】DP塗替え
q	【既存のまま】アルミカー板t=2.0	【既存のまま】
r	【既存のまま】モルタル塗り	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→下地調整 (C-1) →複層塗材E
s	【既存のまま】軒樋：塩ビ角樋 折板用 W=120	【既存のまま】

- ※ 外壁面既存サッシ廻り、2重水切り、外付け鉄骨プレス廻り：シーリング打替え (MS-2 (15×10))
- ※ アルミカー板廻り：シーリング打替え (MS-2 (25×10))
- ※ ベランダ床面：水洗い

劣化改修

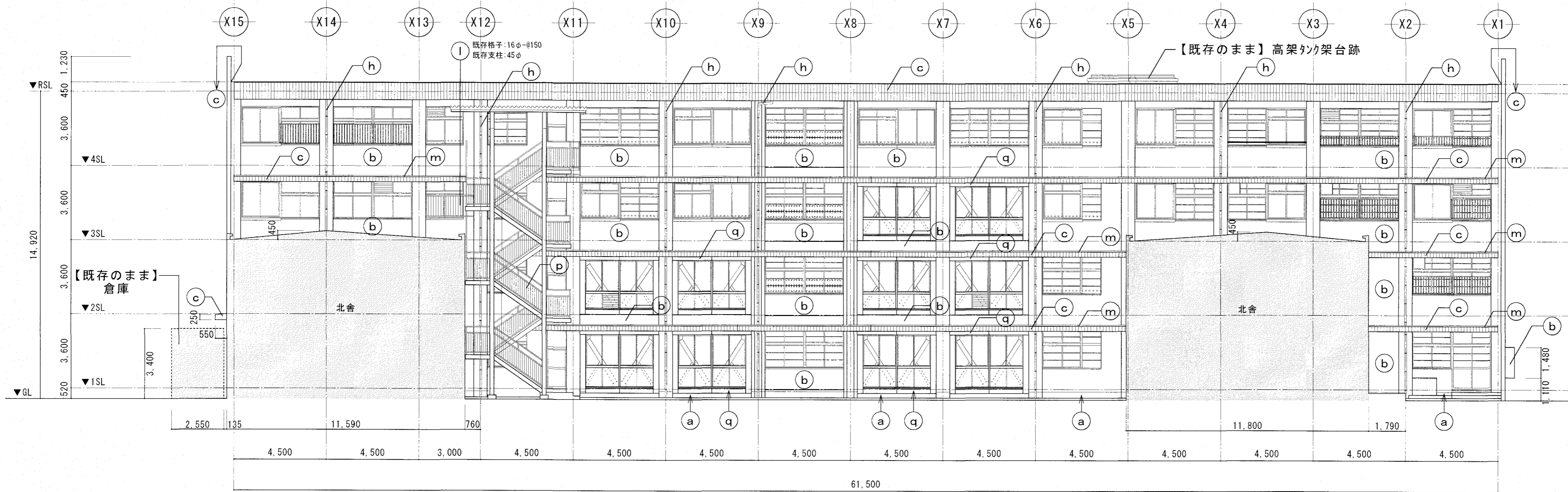
損傷内容	工法	予定数量
欠損	充填工法 (エポキシ樹脂モルタル)	3.0 m <sup>3</sup>
ひび割れ (0.2mm以上1.0mm未満)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	2.0 m
ひび割れ (1.0mm超え)	Uカット材充填工法	1.0 m
浮き (一般部)	注入口付アンカボルト全面エポキシ樹脂注入工法	1.0 m <sup>2</sup>

※ 数量及び工法は予定で、施工数量調査の結果により変更する。

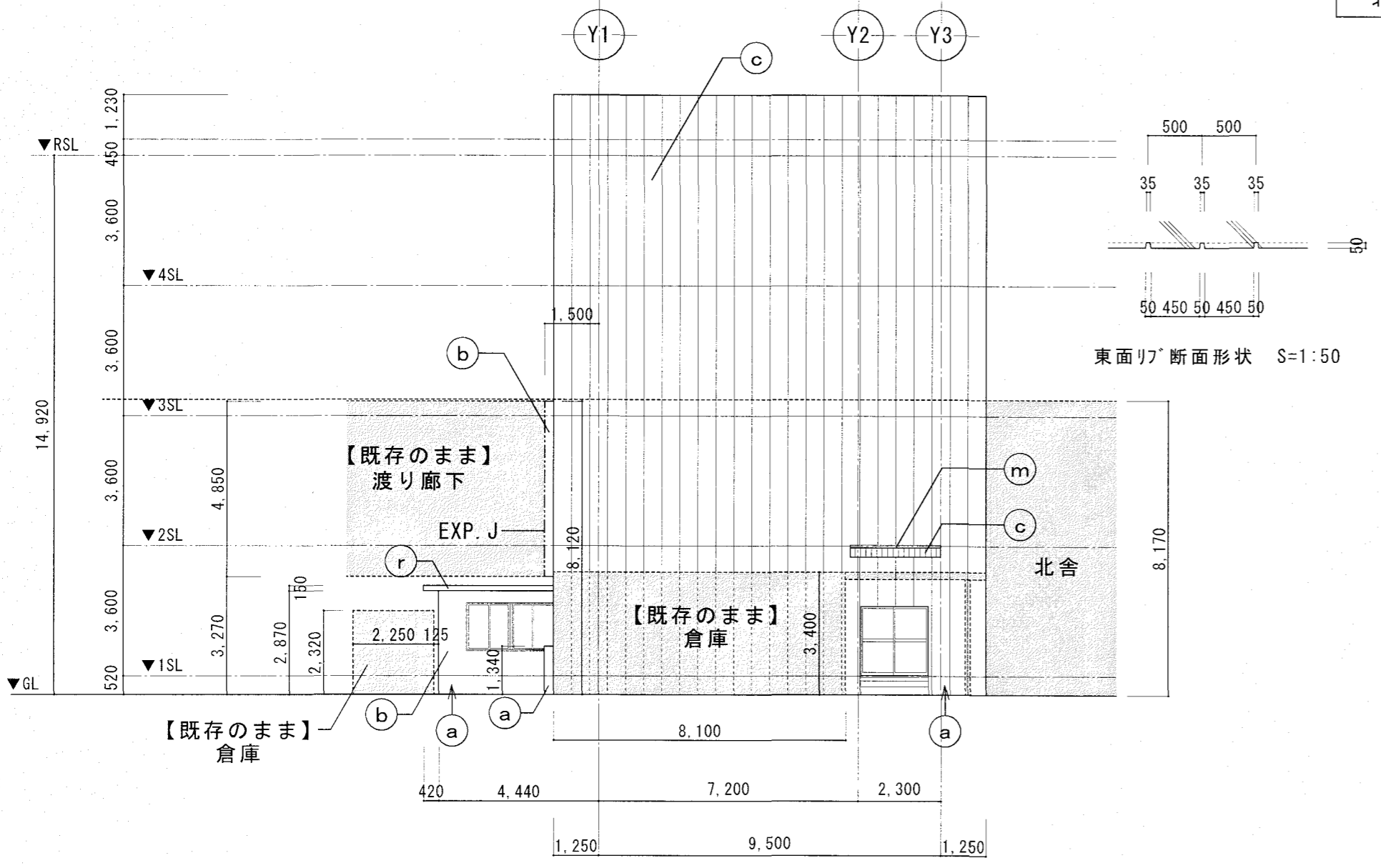
凡例  
 施工範囲外を示す

高知市 都市建設部 公共建築課

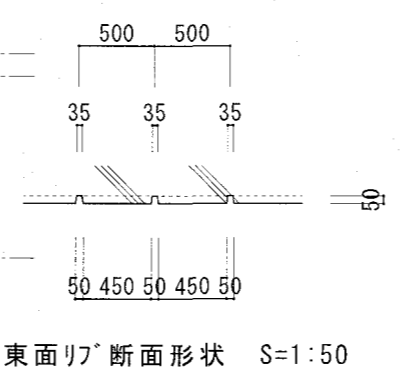
工事名	南海中学校中舎外壁改修工事	係長	田邊	課長補佐	曾岡	課長	濱田	図面番号	09
図面名	立面図 (1)	作図	田邊	尺	1 / 150	日	R8年 4月		



北面 立面図 S=1:150



東面 立面図 S=1:150



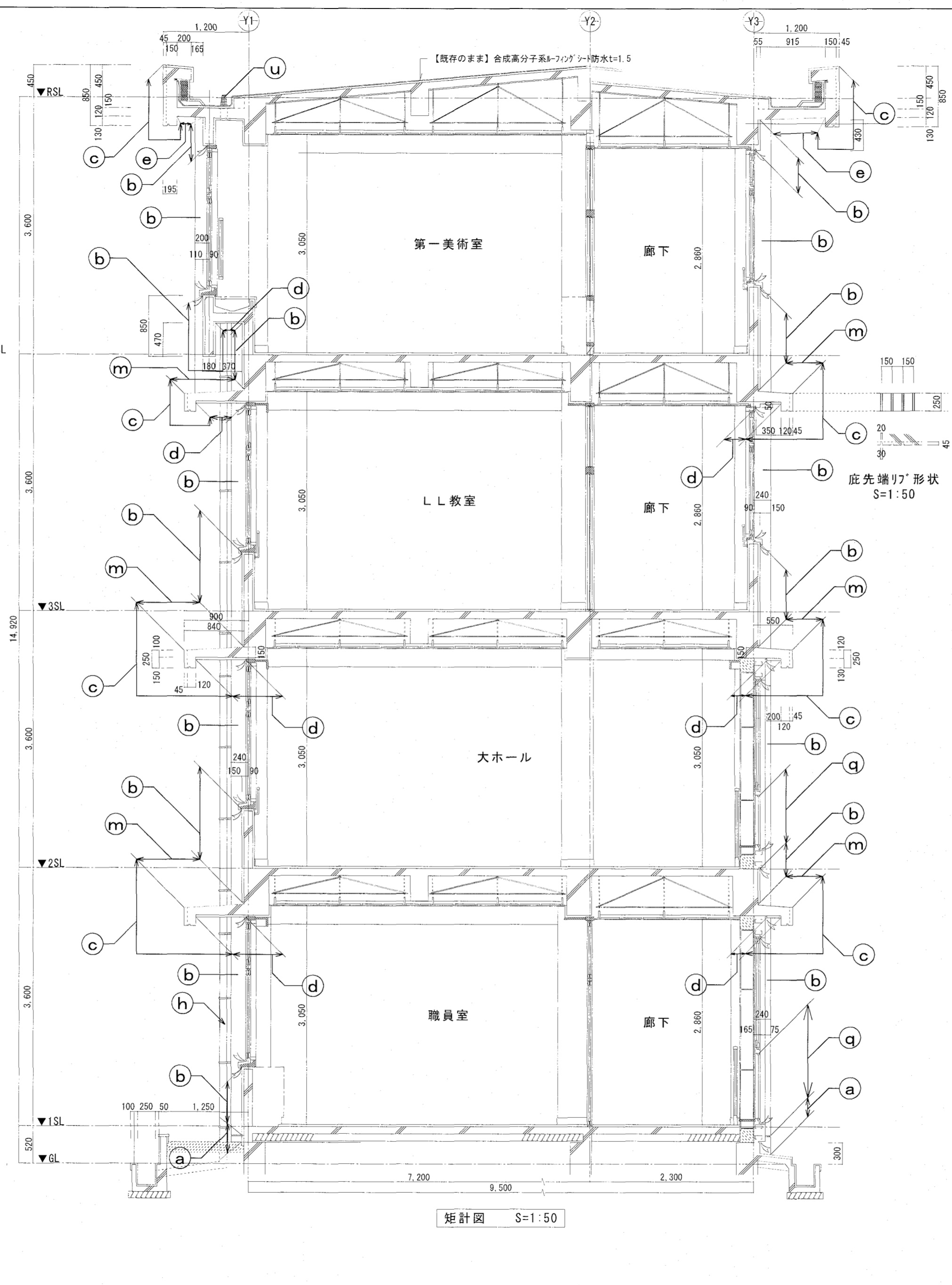
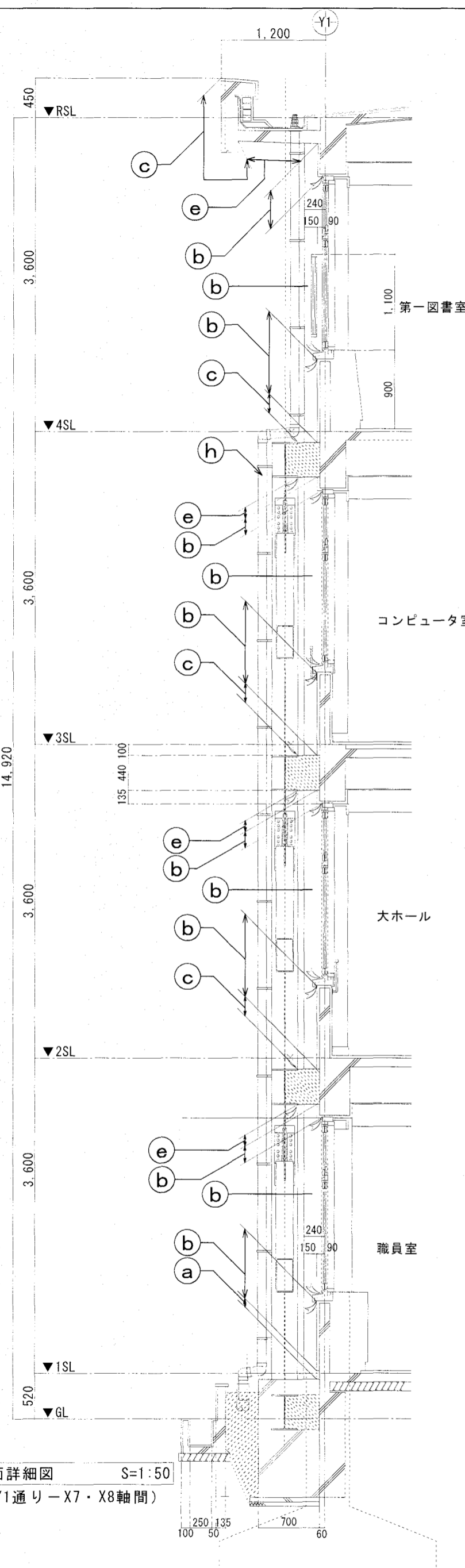
東面リブ断面形状 S=1:50

記号	改修前	改修後
(a)	【既存のまま】珞外塗り	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修
(b)	【既存のまま】珞外t=30下地 複層塗材E吹付	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→下地調整 (C-1) →複層塗材E
(c)	【既存のまま】コンクリート下地 複層塗材E吹付	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→下地調整 (C-1) →複層塗材E
(d)	【既存のまま】珞外t=30下地 外装薄塗材E吹付	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→外装薄塗材E
(e)	【既存のまま】コンクリート下地 外装薄塗材E吹付	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→外装薄塗材E
(f)	【既存のまま】アルミカバー板t=2.0 W=100 L=665	【改修】水洗い
(g)	【既存のまま】鉄部：亜鉛アルミニウム溶射 DP塗	【既存のまま】
(h)	【撤去】たてどい：カーVP100φ SUSとい受金物共	【新設】たてどい：カーVP100φ SUSとい受金物共
(i)	【撤去】たてどい：カーVP75φ SUSとい受金物共	【新設】たてどい：カーVP75φ SUSとい受金物共
(j)	【既存のまま】アルミニウム製ベランダ手摺	【既存のまま】
(k)	【既存のまま】アルミニウム製格子窓手摺	【既存のまま】
(l)	【既存のまま】スチール製格子窓手摺：DP塗	【改修】DP塗替え
(m)	【既存のまま】庇天端：コンクリート下地 複層塗材E	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→下地調整 (C-1) →複層塗材E
(n)	【既存のまま】軒天（庇）：珞外t=30下地 外装薄塗材E	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→外装薄塗材E
(o)	【既存のまま】軒天（パレット）：コンクリート下地 外装薄塗材E	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→外装薄塗材E
(p)	【既存のまま】鉄骨屋外階段：DP塗	【改修】DP塗替え
(q)	【既存のまま】アルミカバー板t=2.0	【既存のまま】
(r)	【既存のまま】珞外塗り	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→下地調整 (C-1) →複層塗材E
(s)	【既存のまま】軒樋：塩ビ角樋 折板用 W=120	【既存のまま】

- ※ 外壁面既存サツ廻り、2重水切り、外付け鉄骨プレス廻り：シーリング打替え (MS-2 (15×10))
- ※ アルミカバー板廻り：シーリング打替え (MS-2 (25×10))
- ※ ベランダ床面：水洗い

凡例

■ 施工範囲外を示す



記号	改修前
a	【既存のまま】珪藻土塗り
b	【既存のまま】珪藻土=30下地 複層塗材E吹付
c	【既存のまま】コンクリート下地 複層塗材E吹付
d	【既存のまま】珪藻土=30下地 外装薄塗材E吹付
e	【既存のまま】コンクリート下地 外装薄塗材E吹付
f	【既存のまま】アルミカー板t=2.0 W=100 L=665
g	【既存のまま】鉄部：亜鉛アルミニウム溶射 DP塗
h	【撤去】たてどい：カーVP100φ SUSとい受金物共
i	【撤去】たてどい：カーVP75φ SUSとい受金物共
j	【既存のまま】アルミニウム製ペランタ手摺
k	【既存のまま】アルミニウム製格子窓手摺
l	【既存のまま】スチール製格子窓手摺：DP塗
m	【既存のまま】庇先端：コンクリート下地 複層塗材E
n	【既存のまま】軒天（庇）：珪藻土=30下地 外装薄塗材E
o	【既存のまま】軒天（ハラハット）：コンクリート下地 外装薄塗材E
p	【既存のまま】鉄骨屋外階段：DP塗
q	【既存のまま】アルミカー板t=2.0
r	【既存のまま】珪藻土塗り
s	【既存のまま】軒樋：塩ビ角樋 折板用 W=120
記号	改修後
a	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修
b	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→下地調整（C-1）→複層塗材E
c	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→下地調整（C-1）→複層塗材E
d	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→外装薄塗材E
e	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→外装薄塗材E
f	【改修】水洗い
g	【既存のまま】
h	【新設】たてどい：カーVP100φ SUSとい受金物共
i	【新設】たてどい：カーVP75φ SUSとい受金物共
j	【既存のまま】
k	【既存のまま】
l	【改修】DP塗替え
m	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→下地調整（C-1）→複層塗材E
n	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→外装薄塗材E
o	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→外装薄塗材E
p	【改修】DP塗替え
q	【既存のまま】
r	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→下地調整（C-1）→複層塗材E
s	【既存のまま】

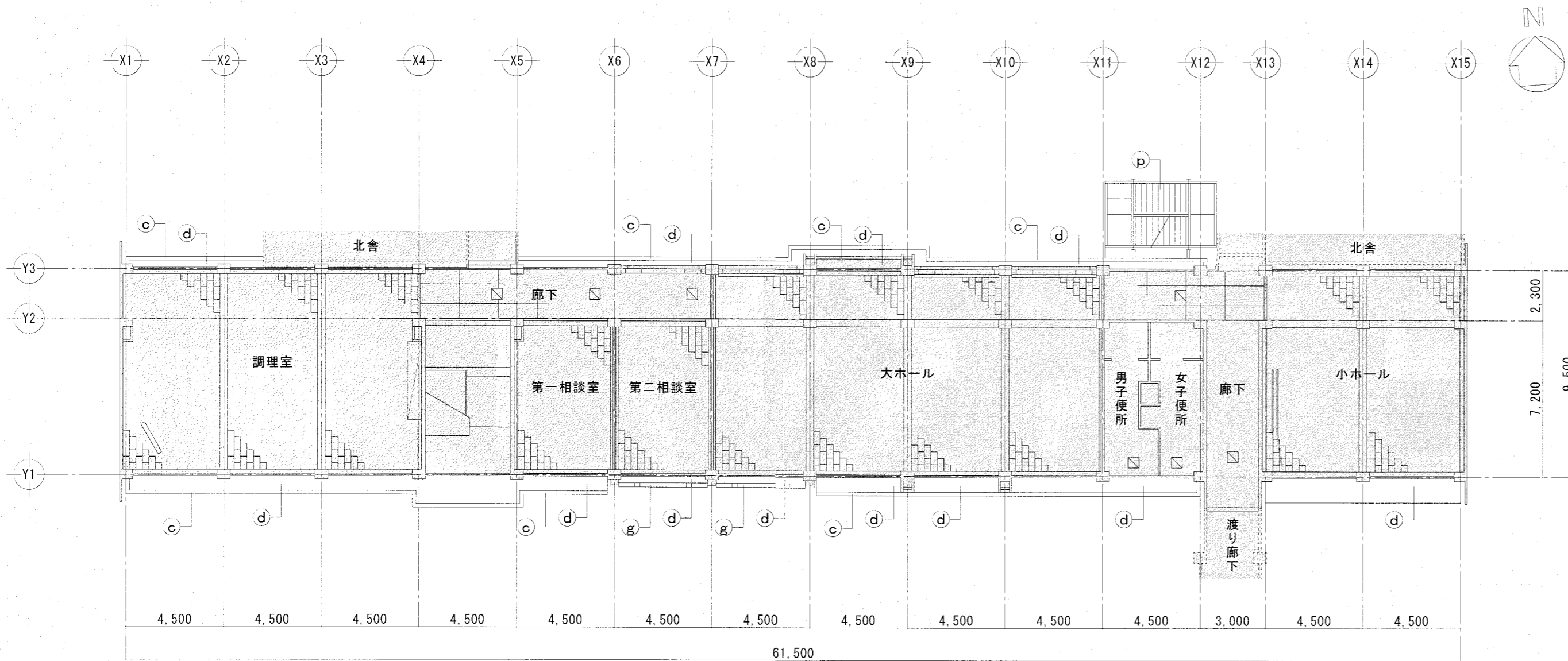
※ 外壁面既存サッシ廻り、2重水切り、外付け鉄骨フレーム廻り  
：シーリング打替え（MS-2（15×10））（図面ノ部分）

※ アルミカー板廻り：シーリング打替え（MS-2（25×10））

※ ペランタ床面：水洗い

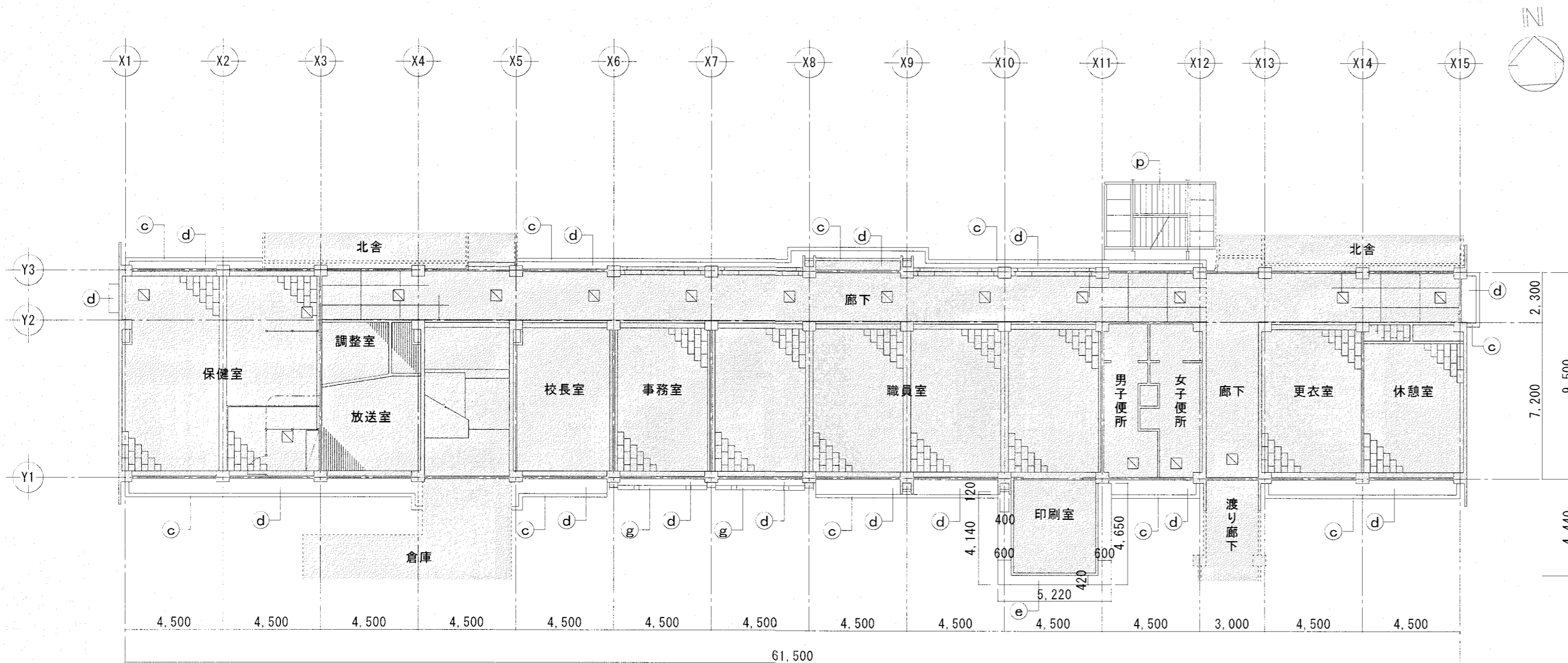
断面詳細図 S=1:50  
(Y1通り-X7・X8軸間)

矩計図 S=1:50



2階 天井伏図 S=1:200

※内部改修なし



1階 天井伏図 S=1:200

※内部改修なし

記号	改修前
a	【既存のまま】珪藻土塗り
b	【既存のまま】珪藻土=30下地 複層塗材E吹付
c	【既存のまま】コンクリート下地 複層塗材E吹付
d	【既存のまま】珪藻土=30下地 外装薄塗材E吹付
e	【既存のまま】コンクリート下地 外装薄塗材E吹付
f	【既存のまま】アルミかべ板t=2.0 W=100 L=665
g	【既存のまま】鉄部：亜鉛アルミニウム溶射 DP塗
h	【撤去】たてどい：カーVP100φ SUSとい受金物共
i	【撤去】たてどい：カーVP75φ SUSとい受金物共
j	【既存のまま】アルミニウム製ベランダ手摺
k	【既存のまま】アルミニウム製格子窓手摺
l	【既存のまま】スチール製格子窓手摺：DP塗
m	【既存のまま】庇天端：コンクリート下地 複層塗材E
n	【既存のまま】軒天（庇）：珪藻土=30下地 外装薄塗材E
o	【既存のまま】軒天（パラペット）：コンクリート下地 外装薄塗材E
p	【既存のまま】鉄骨屋外階段：DP塗
q	【既存のまま】アルミかべ板t=2.0
r	【既存のまま】珪藻土塗り
s	【既存のまま】軒樋：塩ビ角樋 折板用 W=120
記号	改修後
a	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修
b	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→下地調整（C-1）→複層塗材E
c	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→下地調整（C-1）→複層塗材E
d	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→外装薄塗材E
e	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→外装薄塗材E
f	【改修】水洗い
g	【既存のまま】
h	【新設】たてどい：カーVP100φ SUSとい受金物共
i	【新設】たてどい：カーVP75φ SUSとい受金物共
j	【既存のまま】
k	【既存のまま】
l	【改修】DP塗替え
m	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→下地調整（C-1）→複層塗材E
n	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→外装薄塗材E
o	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→外装薄塗材E
p	【改修】DP塗替え
q	【既存のまま】
r	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→下地調整（C-1）→複層塗材E
s	【既存のまま】

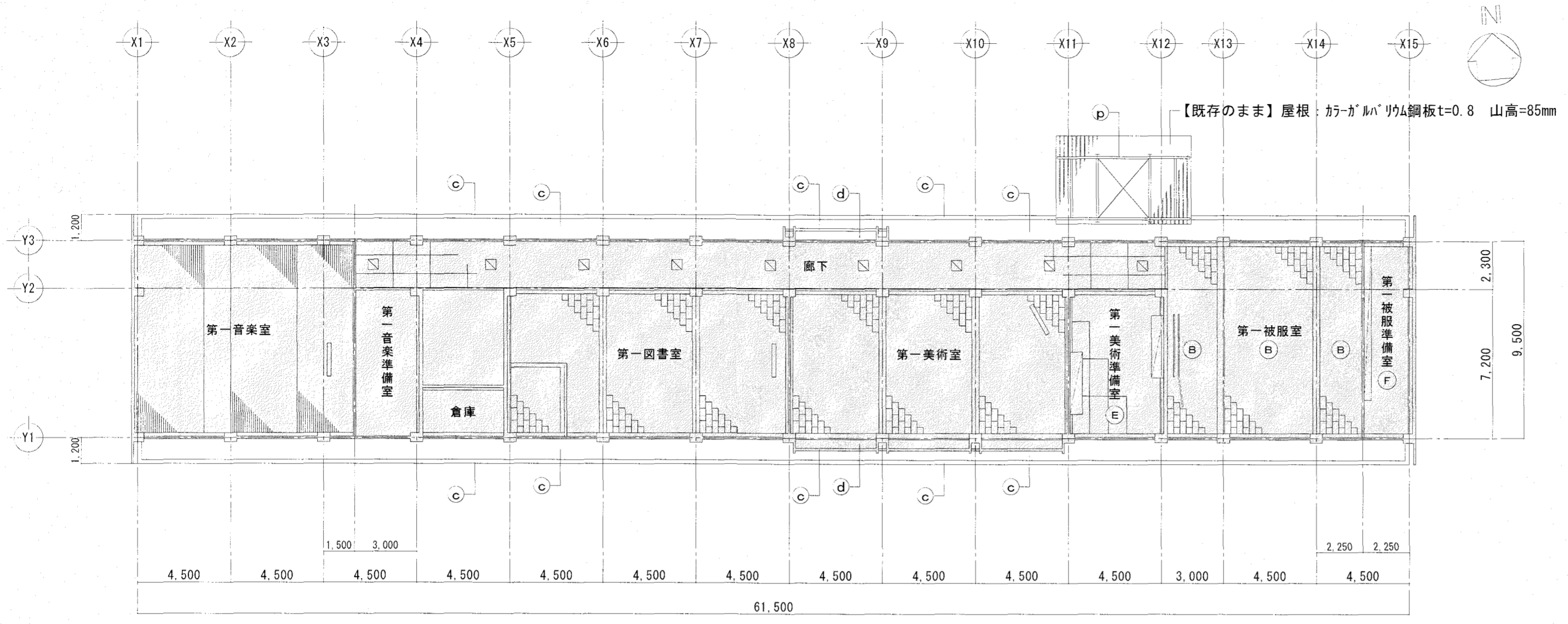
※ 外壁面既存サッシ廻り、2重水切り、外付け鉄骨ブレース廻り  
：シーリング打替え（MS-2（15×10））（図面 部分）

※ アルミかべ板廻り：シーリング打替え（MS-2（25×10））

※ ベランダ床面：水洗い

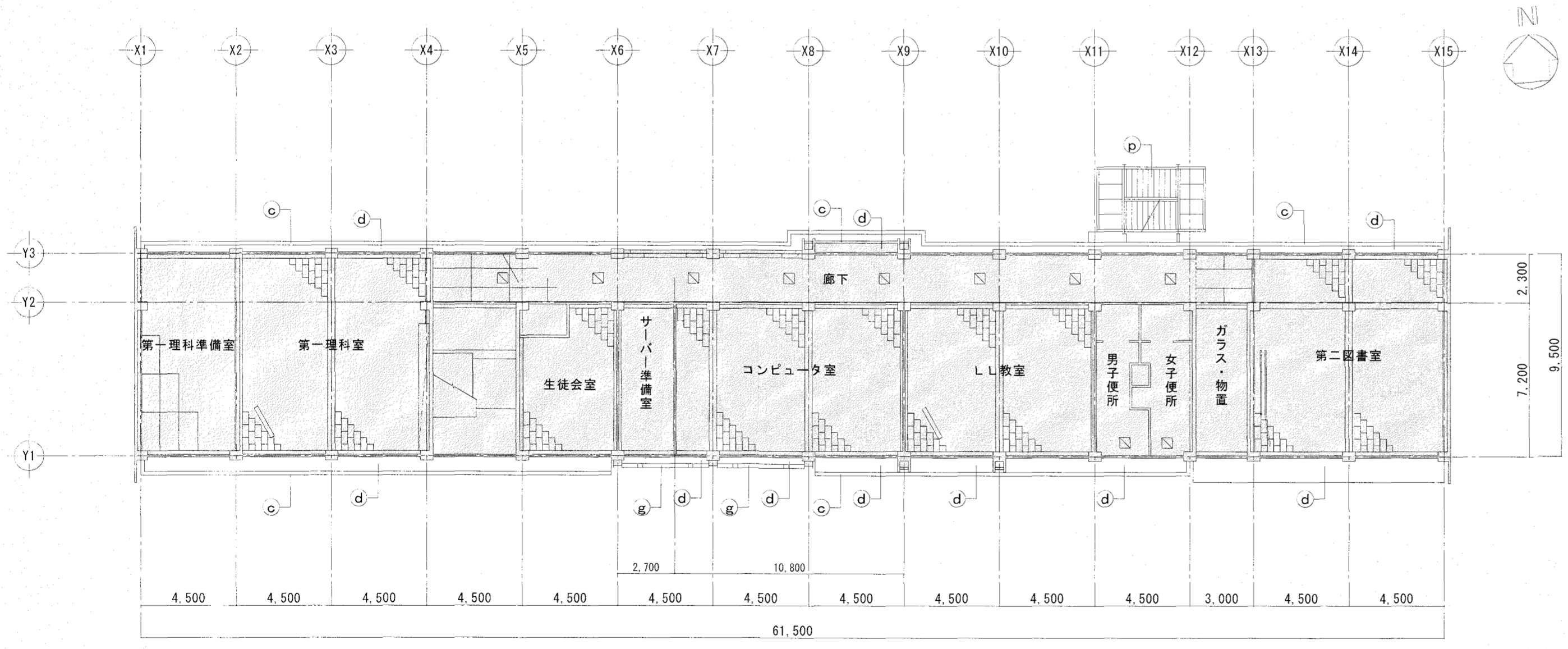
凡例

■ 施工範囲外を示す



4階 天井伏図 S=1:200

※内部改修なし



3階 天井伏図 S=1:200

※内部改修なし

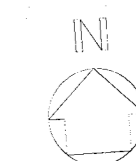
記号	改修前
a	【既存のまま】珪藻土塗り
b	【既存のまま】珪藻土=30下地 複層塗材E吹付
c	【既存のまま】コンクリート下地 複層塗材E吹付
d	【既存のまま】珪藻土=30下地 外装薄塗材E吹付
e	【既存のまま】コンクリート下地 外装薄塗材E吹付
f	【既存のまま】アルミカバー板t=2.0 W=100 L=665
g	【既存のまま】鉄部：亜鉛アルミニウム溶射 DP塗
h	【撤去】たてどい：カーVP100φ SUSとい受金物共
i	【撤去】たてどい：カーVP75φ SUSとい受金物共
j	【既存のまま】アルミニウム製ヘラング手摺
k	【既存のまま】アルミニウム製格子窓手摺
l	【既存のまま】スチール製格子窓手摺：DP塗
m	【既存のまま】庇天端：コンクリート下地 複層塗材E
n	【既存のまま】軒天（庇）：珪藻土=30下地 外装薄塗材E
o	【既存のまま】軒天（パラペット）：コンクリート下地 外装薄塗材E
p	【既存のまま】鉄骨屋外階段：DP塗
q	【既存のまま】アルミカバー板t=2.0
r	【既存のまま】珪藻土塗り
s	【既存のまま】軒樋：塩ビ角樋 折板用 W=120
記号	改修後
a	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修
b	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→下地調整（C-1）→複層塗材E
c	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→下地調整（C-1）→複層塗材E
d	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→外装薄塗材E
e	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→外装薄塗材E
f	【改修】水洗い
g	【既存のまま】
h	【新設】たてどい：カーVP100φ SUSとい受金物共
i	【新設】たてどい：カーVP75φ SUSとい受金物共
j	【既存のまま】
k	【既存のまま】
l	【改修】DP塗替え
m	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→下地調整（C-1）→複層塗材E
n	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→外装薄塗材E
o	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→外装薄塗材E
p	【改修】DP塗替え
q	【既存のまま】
r	【改修】水洗い→施工数量調査→劣化改修→下地調整（C-1）→複層塗材E
s	【既存のまま】

※ 外壁面既存サッシ廻り、2重水切り、外付け鉄骨フレーム廻り  
：シーリング打替え（MS-2（15×10））（図面 〃部分）

※ アルミカバー板廻り：シーリング打替え（MS-2（25×10））

※ ヘラング床面：水洗い

凡例  
 施工範囲外を示す



2階 平面図 S=1:200

1階 平面図 S=1:200

※内部改修なし

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名	南海中学校中舎外壁改修工事			
		係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		図面名	1、2階建具配置図 2025.04 縮尺 1/200			
		作図	R8年4月 日			
			14			



4階 平面図 S=1:200

3階 平面図 S=1:200

※内部改修なし

				高知市 都市建設部 公共建築課		工事名 南海中学校中舎外壁改修工事		係 	係長 	課長補佐 	課長 	図面番号 15
						図面名 3、4階建具配置図 2026.04 縮尺 1/200		作図 R8年4月		日		

番号 記号	室名	数量	① AD 昇降口 南出入口					② AD 廊下 南出入口					③ AD 廊下 東出入口					④ AD 保健室					⑤ AD 廊下					⑥ AD 第一被服室																																		
			1階	2階	3階	4階	合計	1階	2階	3階	4階	合計	1階	2階	3階	4階	合計	1階	2階	3階	4階	合計	1階	2階	3階	4階	合計	1階	2階	3階	4階	合計																														
形状寸法	FL																																																													
材種	見込		既存のまま					既存のまま					既存のまま					既存のまま					既存のまま					既存のまま																																		
ガラス			既存のまま					既存のまま					既存のまま					既存のまま					既存のまま					既存のまま																																		
金物			既存のまま					既存のまま					既存のまま					既存のまま					既存のまま					既存のまま																																		
備考																																																														
番号 記号	室名	数量	① AW 大ホール 他										① AW 職員室 他										③ AW 便所										④ AW 廊下										④ AW 廊下(フリース設置部)										⑤ AW 廊下									
			1階	2階	3階	4階	合計	1階	2階	3階	4階	合計	1階	2階	3階	4階	合計	1階	2階	3階	4階	合計	1階	2階	3階	4階	合計	1階	2階	3階	4階	合計																														
形状寸法	FL																																																													
材種	見込		既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま									
ガラス			既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま									
金物			既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま									
備考																																																														
番号 記号	室名	数量	⑤ AW 保健室 他										⑥ AW 第一理科準備室 他										⑥ AW 第二図書室・第一被服準備室										⑦ AW 廊下										⑦ AW 第一理科室										⑧ AW 廊下									
			1階	2階	3階	4階	合計	1階	2階	3階	4階	合計	1階	2階	3階	4階	合計	1階	2階	3階	4階	合計	1階	2階	3階	4階	合計	1階	2階	3階	4階	合計																														
形状寸法	FL																																																													
材種	見込		既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま									
ガラス			既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま									
金物			既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま									
備考			※保健室はガラス										※既存カバー工法										※既存カバー工法																																							
番号 記号	室名	数量	⑨ AW 廊下										⑩ AW 休憩室 他										⑩ AW 更衣室										⑪ AW ガラス・物置										⑫ AW 廊下										⑬ AW 3階廊下・第一被服室									
			1階	2階	3階	4階	合計	1階	2階	3階	4階	合計	1階	2階	3階	4階	合計	1階	2階	3階	4階	合計	1階	2階	3階	4階	合計	1階	2階	3階	4階	合計																														
形状寸法	FL																																																													
材種	見込		既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま									
ガラス			既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま									
金物			既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま										既存のまま									
備考			※既存カバー工法																																																											

※A P : 既存7mm t=3.0

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	南海中学校中舎外壁改修工事				係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	【参考図】建具表(1) 2026.04 縮尺 1/100				作図	R8年	4月	日	16

参考図

番号 記号	室名	数量	14 AW 第二図書室・第一被服室					15 AW 保健室					16 AW 印刷室					17 AW 放送室 他					18 AW 倉庫					7 AD 第二図書室 他				
形状寸法	FL																															
材種	見込	既存のまま		既存のまま			既存のまま			既存のまま			既存のまま			既存のまま			既存のまま			既存のまま			既存のまま							
ガラス	既存のまま		既存のまま			既存のまま			既存のまま			既存のまま			既存のまま			既存のまま			既存のまま			既存のまま								
金物	既存のまま		既存のまま			既存のまま			既存のまま			既存のまま			既存のまま			既存のまま			既存のまま			既存のまま								
備考																																
番号 記号	室名	数量	1階 2階 3階 4階 合計					1階 2階 3階 4階 合計					1階 2階 3階 4階 合計					1階 2階 3階 4階 合計					1階 2階 3階 4階 合計									
形状寸法																																
材種	見込																															
ガラス																																
金物																																
備考																																
番号 記号	室名	数量	1階 2階 3階 4階 合計					1階 2階 3階 4階 合計					1階 2階 3階 4階 合計					1階 2階 3階 4階 合計														
形状寸法																																
材種	見込																															
ガラス																																
金物																																
備考																																

参考図

※AP: 既存7mm厚 t=3.0

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名

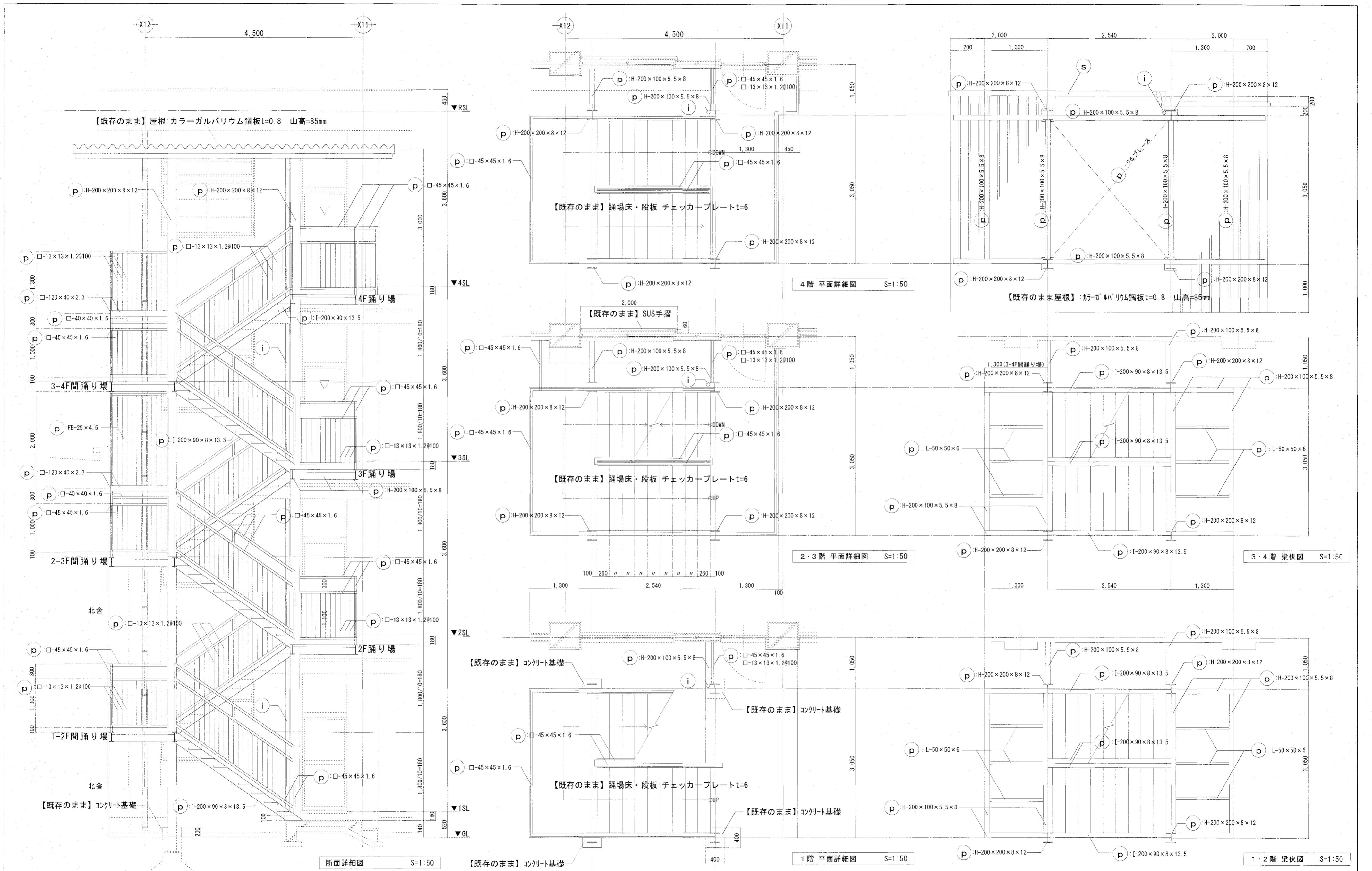
南海中学校中舎外壁改修工事

係 係長 課長補佐 課長 図面番号

17

図面名 【参考図】建具表(2) 2026.04 縮尺 1/100

作図 R8年 4月 日



記号	改修前	改修後
i	【撤去】たてどい: ｶｰVP75φ SUSとい受金物共	【新設】たてどい: ｶｰVP75φ SUSとい受金物共
p	【既存のまま】鉄骨屋外階段: DP塗	【改修】DP塗替え
s	【既存のまま】軒樋: 塩ビ角樋 折板用 W=120	【既存のまま】

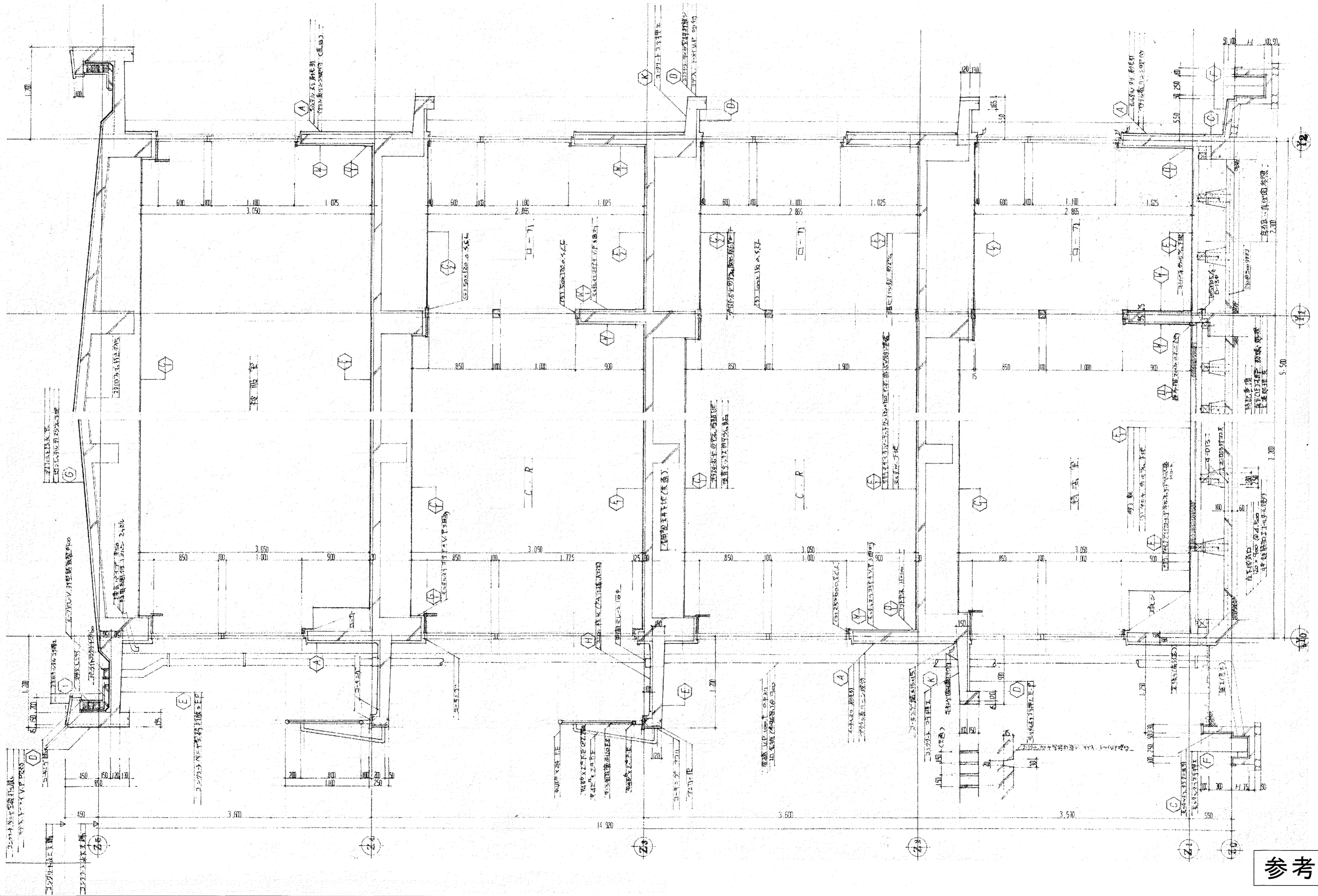
工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
南海中学校中舎外壁改修工事					18

高知市 都市建設部 公共建築課

図面名	縮尺	作図	年月日
屋外階段詳細図	1/50	R8年4月	







参考図

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	南海中学校中舎外壁改修工事				図面番号
係長	課長補佐	課長			21
作図	R8年4月				日
図面名	【参考図】'A'断面図 2026.04 縮尺 -				